

風とあかり



創立60周年記念号



一般社団法人 静岡県設備設計協会

風とあかり

創立60周年記念号

"SEPA"って何？



この一般社団法人静岡県設備設計協会のマークの中のSEPAは下記の意味を持つものです。

S : SHIZUOKAKEN (静岡県)
E : EQUIPMENT (設備)
P : PLANNER (設計者)
A : ASSOCIATION (協会)

一般社団法人静岡県設備設計協会の略称として、
SEPA (セパと読みます) の呼称を
定着させたいと存じます。
日常の電話等の応対にご利用下されば幸甚です。

* 協会のマークは、昭和60年11月に創立20周年記念に伴い制定されました。

一般社団法人 静岡県設備設計協会

〒422-8062 静岡市駿河区稲川1丁目1番32号 グランドウール稲川Ⅱ302号

TEL (054) 284-3088

FAX (054) 284-3095

Eメール sepa@po4.across.or.jp

ホームページ <http://sepa-jp.com>



会 員 憲 章

一般社団法人 静岡県設備設計協会

1. 会員は委託者の信頼に応え、設備設計事務所の構成員として、資質才能を十分に生かし責務を果たさなければならない。
2. 会員は委託者から適正な報酬を受け、委託者以外のものからいかなる利益供与も受けてはならない。
3. 会員は常に知識と経験を傾注し、先進的な技術をもって社会に貢献するよう努めなければならない。
4. 会員は常に人格の向上、研學に努め、会員相互は友愛をもって遇し、他の設計者の名声を傷つけてはならない。
5. 会員は施工者に対し公正な態度でのぞみ、行き届いた工事監理をしなければならない。



創立60周年を迎えて

一般社団法人静岡県設備設計協会

会 長 後 藤 利 基

一般社団法人静岡県設備設計協会は、本年度創立60周年を迎えることができました。

これは、静岡県をはじめとする建築設備にかかわる関係官庁の皆様、建築関係の諸団体の皆様、建築設備技術者の先輩諸氏、当協会の賛助会員の皆様、正会員の皆様のご協力とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本協会の50周年までの歩みは、当時の三ツ井会長より50周年記念誌にて、ご紹介くださっており、私からはこの10年の状況について触れさせていただきます。

平成25年（2013年）に一般社団法人となってからは、建築業界全体と同じく、後継者不足・技術者不足に悩まされた十数年となりました。平成25年度の正会員数は26社の在籍がありましたが、令和7年度の今年は22社の在籍となり、会員数は減少しております。

その間の社会情勢は、デジタル技術の台頭・大規模な自然災害・新型コロナウイルス感染症・働き方改革・脱炭素化社会の実現と、より多くの社会的な困難の経験や社会常識の変革を迎えました。このような社会課題に、「我々設備技術者は室内環境構築のプロフェッショナルとして、先頭に立って問題解決に尽力していくべき」と、考えさせられる10年でもありました。後継者不足・技術者不足の中、世の中の変革に対応すべく賛助会員・正会員が一体となって、努力をしてきた10年とも言えます。

この先の10年は、社会の変革スピードがさらに速まり、気候変動も顕在化し、我々建築設備技術者の担う役割は一層重要度を増していきます。その重責を背負い、関係諸団体の皆様からのご支援を頂きながら、賛助会員様・正会員の皆様と一丸となって対処していきたいと考えます。

静岡県設備設計協会の60周年は、他県の設備設計協会様に先駆けて60周年を迎えることができました。これは、先人の建築設備技術者が先見の明を持ち、協会の設立にご尽力いただけたからに他なりません。

次の時代に静岡県設備設計協会を持続的な発展をしながら、引き継いでいくためにも、先輩諸氏のご意思を引き継ぎ、関係官庁・建築関連団体・建築技術者・賛助会員・正会員の皆様と共に、研鑽を積み・技術向上に努め、静岡県民をはじめ、あらゆる人々の安全・安心で優良な社会環境を実現するために、邁進したいと考えております。

今後共により一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

風とあかり(60周年記念号)

目 次

● “SEPA” って何？	3
● 会員憲章	4
● 創立60周年を迎えて 一般社団法人静岡県設備設計協会 会長 後藤利基	5
● 目次	7
● 祝辞 静岡県知事 鈴木康友	9
● 祝辞 静岡県議会議員 天野 一	10
● 祝辞 静岡県財務部設備課長 久保池一博	11
● 祝辞 一般社団法人日本設備設計事務所協会 会長 高木俊幸	12
● 祝辞 一般社団法人静岡県建築士事務所協会 会長 金丸智昭	13
● 祝創立60周年	14
● 創立60周年記念式典式次第	20
● 創立60周年記念式典来賓名簿	21
● 歴代会長 回顧録 11代会長 三ツ井幹雄	22
12代会長 植田賢司	23
13代会長 神谷保孝	24
● 一般社団法人静岡県設備設計協会60年のあゆみ	25
● 広報誌「風とあかり」のあゆみ	42
● 歴代役員	46
● 設備のあゆみ	50
● 技術レポート	
・ 業務用エコキュート・業務用瞬間式給湯器を組合せ、環境性・省コストに優れた給湯を実現！「業務用ハイブリッド給湯システム」をラインアップ 株式会社ノーリツ 非住宅営業部東海営業チーム	57
・ 日本の電力消費量削減へ「インバータ内臓PMモータ」の開発 ～電力消費量を削減する新開発モータで、日本の未来を変えていく挑戦～ 株式会社荏原製作所 静岡支店	60
・ 業務用ハイブリッド給湯システムに新たなラインアップ ～業務用マルチハイブリッドシステム～ パーパス株式会	62
・ 温風輻射式床下暖房 温泉熱LEGALETT®（レガレット）のご紹介 株式会社日興	65
● 静岡県・市建築設備関連連絡先	66
● 設備設計・監理受注実績	68
● 委員会活動	72
● 事業報告	75

● 新正会員紹介			
・ 一級建築士事務所TAKA設計室	代 表	中村貴弘	80
● 新賛助会員紹介			
・ 株式会社BANTEC	代表取締役	山口良隆	81
● ようこそ静岡へ			
・ 能美防災株式会社静岡支社	支社長	遠藤英人	82
・ 株式会社荏原製作所静岡支店	支店長	家村雄三	83
● 頑張ってる営業マン			
・ 森松工業株式会社 中日本建築営業部 静岡営業所		庄村健太郎	84
・ サンコー防災株式会社 エンジニアリング本部	主 任	牧野公亮	85
・ 光陽エンジニアリング株式会社 営業部		染川 悟	86
・ 株式会社静岡日立 設備機器営業本部		洞口和彦	87
・ 日立グローバルライフソリューションズ株式会社 中部支社 ソリューション営業グループ		倉知 淳	88
・ パーパス株式会社リビングソリューション浜松		廣瀬 剛	89
・ 株式会社ベルテクノ静岡営業所		小柳津万太郎	90
● 一般社団法人静岡県設備設計協会 定款			91
● 令和7年度役員委員会構成			96
● 正会員名簿			98
● 賛助会員名簿			100
● 会員だより			111
● 協賛各社ご紹介			113
● 編集後記			130
● 表紙文字作者ご紹介			130



祝 辞

静岡県知事

鈴木 康 友

一般社団法人静岡県設備設計協会が、創立60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和40年の創立以来、建築設備の知識に関する普及、啓発、技術に関する調査研究に取り組み、安全で豊かな県民生活の向上に寄与されてきました。60年の長きにわたり、会員の皆様が、常に技術力向上に御尽力され、業界の繁栄と発展に大きく貢献してこられたことに、深く敬意を表します。

現在、我が国は、人口減少や少子高齢化の急速な進行、国際情勢の不安定化、物価高騰の長期化などの影響により、建設業界においても慢性的な担い手不足、建設費の高騰など様々な課題に直面しております。

また、地球温暖化の影響等により、2050年までの脱炭素社会の実現に向け、建築物における省エネルギー対策に積極的に取り組むことが急務となっており、脱炭素化、省エネに配慮した設備機器の高度化、複雑化に対応する皆様は日々研鑽に励まれるとともに、御苦勞は多いことと存じます。

本県では現在、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応し、新しい時代を切り拓いていくため、県民一人ひとりの幸福実感を重視する「ウェルビーイング」の視点を取り入れた「次期総合計画」の策定作業を進めております。

新たな計画においては、段階的に脱炭素社会を構築するために、再生可能エネルギー等の導入・利用促進や住宅・建築物の省エネ化等の徹底した省エネルギー対策の推進などに取り組めます。

さらに、大規模地震や頻発化する風水害などが発生した場合に、早期復旧・復興を図るため対策活動拠点となる施設の機能維持に必要な建築設備の災害対策を着実に進めてまいります。

このような施策を推進する上で、建築設備に関する専門的技術者の役割は大きく、豊富な経験と高い技術力を有する貴協会の皆様におかれましては、今後とも一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県設備設計協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

静岡県議会議員

天 野

—

創立60周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。（一社）静岡県設備設計協会におかれましては、長きにわたり、建物と人との間に立って安全・安心・快適さを軸とした建築業界の発展に寄与し、地域経済の発展と活性化にご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝を表する次第であります。皆様と一緒に一般社団法人取得に取り組んだこと、参与企業を訪問したこと等々、昨日のことの様に甦ってきます。

設備設計の役割は、社会環境の変化と共に常に進化してきました。昔は、設備設計は建物の血管や神経と言われてきましたが、現在は新たにテクノロジーの機能が求められてきています。

特に昨今はデジタル技術を活用した「スマートビル」への関心が高まっています。人と機械の共存が求められる理由に、省エネ化、効率性と安全性の向上が挙げられます。今後は人口減少が進み、スマートビルでないと入居したくない、購入したくない、そんな社会がやってくるのではないかと思います。

スマートビルを実現する上で、カギを握るといわれるのがZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)です。静岡県では、2050年の脱炭素社会の実現に向け、率先して県有建築物のZEB化に取り組み、これを効率的に進めるため「ZEB化設計指針」及び「同指針活用マニュアル」を策定しました。ZEBは、これからの建築物のスタンダードとなる存在です。併せて、県内民間のビルなどの建物に対するZEB化やZEH（ゼッチ）などの、国の補助金の活用についても支援していきたいと思います。

この夏、静岡市では最高気温41.4℃という県内では観測史上最も高い気温を記録しました。これは全国歴代2位タイの暑さです。戦争や自然災害などエネルギーの安定供給に大きな支障を来す不測の事態も多発するようになっていきます。こうした現状を踏まえ、私は貴協会の経験と技術力には、未来の私たちの生活を守る力があると確信しています。結びに、皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。



祝 辞

静岡県財務部設備課長

久保池 一 博

一般社団法人 静岡県設備設計協会がめでたく創立60周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

60年前の昭和40年代は、特に鉄鋼、電器、自動車等の製造業が大きく発展した高度経済成長で、我が国の経済や技術が急速に発展を遂げた時代でした。また、現代は、AIやIoTなどのデジタル技術を中心に情報通信、エネルギーなど幅広い分野において生活の質の向上、生産性の向上と効率化等に貢献する技術革新の時代に入りました。

このような時代の変化の中、急速な技術の発展に対応すべく設備設計に要求される水準が高まり、その技術力を向上し努められてきたことは高く評価され、改めまして敬意を表します。

近年、東日本大震災の発生や今後想定される南海トラフ巨大地震に対する地震災害対策、また、二酸化炭素排出量の急増による地球温暖化の対策が県施策の重要な課題となっています。

まず、地震災害対策ですが、県民の生命、財産を守るため、防災拠点等で持続可能な災害対策活動や機能維持を確保するため、設備機器の耐震化はもとより、受変電設備等の浸水対策、持続可能な設備の運用等の対策を引き続き、実施して参ります。

次に、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け、国土交通省は、いわゆる建築物省エネ法を改正し今年4月から全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合を義務付け、また、経済産業省は、トップランナー制度に基づく事業用変圧器のエネルギー消費効率の更なる改善を進めています。

未来のために国を挙げて地球温暖化対策を強化、加速していく必要があります、県としましても今後、新築、改修する県有建築物のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化、再生可能エネルギーの活用等により、二酸化炭素排出量の削減に努めて参ります。

また、2008年のリーマンショックや2019年から流行した新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していました設備投資も緩やかに回復し、持ち直しつつあると聞きます。

これらのニーズに応えていくための実務を担う設備設計業界は、社会的に重要な使命を担っていると言っても過言ではなく、これが追い風となって貴協会の積極的な貢献により、業界が益々発展されることを期待しております。

結びに、一般社団法人静岡県設備設計協会の今後の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして私のお祝いの言葉といたします。



祝 辞

一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会
会 長 高 木 俊 幸

一般社団法人静岡県設備設計協会が創立60周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。昭和40年4月に設立されて以来、地域社会に根ざした活動を続けてこられた皆様のご努力とご功績に、深く敬意を表します。

静岡県は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた一方で、南海トラフ地震などの大規模災害への備えが重要な地域です。安全で快適な建築環境を実現するためには、防災・減災に配慮した設備設計、省エネ・脱炭素への取り組み、そして人々の暮らしを支える快適性の追求が不可欠です。まさに静岡県設備設計協会がこれまで積み上げてきた知見と実績が、地域社会に大きく貢献してきたことを改めて実感いたします。

一方、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。2050年カーボンニュートラルや2030年度温室効果ガス46%削減という国家目標の達成に向け、設備設計分野にはGXの推進が求められています。国土交通省では、建築物の資材調達から解体・廃棄までを評価するLCA制度を導入し、環境負荷の「見える化」を導入しようとしています。また、ZEB・ZEHの普及は、カーボンニュートラル実現における重要な柱であり、設備設計者の役割はますます大きくなっています。同時に、BIMやIoTの活用といったDXも不可欠です。

こうした変革期を乗り越えるには、技術力の研鑽と同時に、設備設計の専門性を正しく評価する制度づくりが必要です。特に、建築設備士の資格は建築士法に明記されているものの、設計者としての位置づけや業務範囲が明確ではないという課題が残っています。私たちの職能が正しく評価される制度を確立することは、業界全体の使命だと考えます。

さらに、人材不足と高齢化の問題は深刻です。高校・大学に設備設計を専門とする学科が少ない現状では、若い人材が業界に集まりにくく、特に地方では担い手不足が顕著です。次世代への技術継承は喫緊の課題であり、60年にわたり地域に根ざして活動してきた静岡県設備設計協会の役割は、ますます重要になるでしょう。

私自身、設備設計に携わるうえで、「目の前にいるあなたに、私ができる最良のことをしてあげたい」という思いを大切にしてきました。設備は人々の暮らしや命を守る基盤であり、その使命感を持ち、誇りをもって次の世代へと技術と志を伝えることが私たちの責務です。

歴史の重みを礎に、未来に向けて新たな挑戦を続けましょう。貴協会のさらなる発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



祝 辞

一般社団法人静岡県建築士事務所協会
会 長 金 丸 智 昭

（一社）静岡県設備設計協会の創立六十周年、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり県内外の建築分野において、設備設計の専門家として研鑽を重ね、地域社会の発展に尽力してこられた皆様のご努力とご功績に深い敬意を表します。今日までの歩みは、先達の熱意と不断の努力の積み重ねであり、またそれを支えてこられた多くの会員の皆様の情熱の賜物であると存じます。

建築と設備は、切っても切り離せない関係にあります。意匠や構造と調和しながら、空気や水、電気や情報といった目に見えない流れを設計することによって、建築は初めて「人が心地よく暮らせる空間」となります。とりわけ現代においては、省エネルギーや環境配慮、災害時の安全確保など、社会の要請は高度化・多様化しており、設備設計の果たす役割はますます重要になっています。建物が持つ性能や価値を左右する根幹が、まさに設備設計にあると言っても過言ではありません。

近年、私たちを取り巻く状況は大きく変化しています。少子高齢化による社会構造の変化、カーボンニュートラルにむけてZEB・ZEHへの取組、さらにはBIMへの対応やデジタル技術の進展など、建築に関わる課題は複雑かつ多岐にわたっています。こうした課題に対し、建築士と設備設計者が知恵と技術を持ち寄り、協力して解決を図ることが持続可能な社会を築くための大きな鍵となります。

静岡県建築士事務所協会といたしましても、同じ専門職能団体として、これまで以上に貴協会との連携を深め、互いに学び合いながら地域に貢献してまいりたいと考えております。人々が安心して暮らし、次世代が誇りを持てるような建築と都市環境を実現するために、協働の輪を広げていくことこそが、未来に対する私たちの責任であると確信しております。

六十年という歴史の重みを胸に、新たな世代へとバトンをつなぎ、さらなる大きな飛躍を遂げられますことを心よりお祈り申し上げます。

祝 創立60周年

中 村 貴 弘

Takahiro Nakamura

一級建築士 設備設計一級建築士
建築設備士 建築基準適合判定資格者

一級建築士事務所 TAKA設計室

〒416-0933 静岡県富士市中丸374-4

株式会社ANDO設備設計

設備設計一級建築士
建築設備士

代表取締役

安藤 真規

Ando Masanori

〒435-0036

静岡県浜松市中央区渡瀬町256

ロジスティックコンビニエンスワタセ3号室

TEL: 053-589-4465 FAX: 053-589-4466

MOBILE: 090-2261-5505

MAIL: m-0923@ando-setsubi.com

U ウエダ建築設備事務所
一級建築士事務所

(一社)静岡県設備設計協会 相談役
(一社)建築設備技術者協会 代議員
設備設計一級建築士・建築設備士

植 田 賢 司

〒419-0205 静岡県富士市天間1442-1-103

TEL 0545-71-7237 FAX 0545-72-2217 Mobile 090-3555-2674

E-mail: ueda@ueda-aep.com URL: http://ueda-aep.com/

株式会社 エーケー

建築設備設計・監理

建築設備士

代表取締役

赤 堀 智 和

Tomokazu Akahori

〒432-8001 静岡県浜松市中央区西山町2042-15

エステート西山 406号

TEL・FAX (053) 522-9684

建築設備・設計・監理

佐々木設備設計事務所

建 築 設 備 士

佐 々 木 哲 男

〒416-0945

静岡県富士市宮島540番地の6

PHONO / FAX 0545-61-8965

携帯電話 090-8320-0410

sasaki_setubi@ybb.ne.jp



Kan
Setsubisekkei
Jimusho

代表取締役
建築設備士

山本晋也



株式会社 環設備設計事務所

〒420-0934 静岡県静岡市葵区岳美3番38号

TEL: 054-247-2907 FAX: 054-248-2414

Mobile: 090-7674-6207

E-mail: shinya@setsubisekkei.net

志賀建築設備設計事務所

志 賀 裕 人

事務所 富士市伝法2320-8

〒417- TEL (0545) 52-6367 番

0061 FAX (0545) 52-5862 番

E-mail: shiga-bs@eos.ocn.ne.jp

祝 創立60周年

(株)スギエもん設計

代表取締役

杉山 彰

Sugiyama Akira

一級建築士 設備設計一級建築士 建築設備士



〒436-0342

静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103

TEL 0537-54-2821 FAX 0537-54-2822 Mobile 090-9198-0108

E-mail sugiemon@zm.commu.jp

WEB http://www.sugiemon-sekkei.jp

設備設計 K A I

電気設計 監理

甲斐裕士

〒421-1131

藤枝市岡部町内谷1470-8

TEL 054-667-3825 FAX 054-667-3826

Mobile 090-8950-5045

E-mail:kaisan@po3.across.or.jp

NEPS

ナナミ電気設計

名波睦生

一級電気施工管理技士・建築設備士

(一社)静岡県設備設計協会 会員

(一社)日本設備設計事務所協会連合会 会員

〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡60-6

TEL 0548-88-3082 FAX 0548-88-3101

携帯090-3956-6559

e-mail : nana1201@cy.tnc.ne.jp



代表取締役

後藤 利基

建築設備士

株式会社 PLAN-Gエンジニアリング

〒426-0067 静岡県藤枝市前島1丁目9-40ナカエンタープライズビル201

TEL: 054-637-9337 FAX: 054-397-6668 Mobile: 090-4089-6244

E-mail: plan_g_eng@ybb.ne.jp



建築設備 設計・監理

株式会社 エスエスシー

代表取締役

齊藤隆幸 Takayuki Saito

t_saito@ssc-eo.com

建築設備士

第二種電気工事士

〒430-0851

静岡県浜松市中央区向宿2-1-7 PURE2

TEL 053-424-9660

FAX 053-424-9661

杉山設備設計事務所

杉山 敬

設備計画・設計・監理

／事務所(〒438-0815)

静岡県磐田市巾田621-1

TEL (0538) 34-4349

FAX (0538) 34-2545

携帯 090-3563-1142

Eメール sugiyama-sekei@ka.tnc.ne.jp

株式会社 セイワ設計



設備コンサルタント
一級建築士事務所



SEIWA

代表取締役

手塚 健雄

Takeo Tezuka

〒433-8114

浜松市中央区葵東1丁目14番25号

TEL (053) 437-4110

FAX (053) 437-5508

E-mail takeo@s-seiwa.com

(一社)静岡県設備設計協会 会員

祝 創立60周年

TsujisystemDesign

 **株式会社 ツジシステムデザイン**

設備設計一級建築士
一級建築士

代表取締役 **辻 信之**

〒434-0042
静岡県浜松市浜名区小松4388-2
Tel: 053-571-9320 Fax: 053-571-9321
Mobile: 080-5137-5721
E-mail: n-tsuji@tsd58.com

 **Public**

建築設備設計・監理

代表取締役
伴 光正
Terunobu Ban

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

株式会社 パブリック設備研究所
〒432-8021 浜松市中央区佐鳴台2丁目9番33号
TEL (053) 447-9131 FAX (053) 447-9133
E-mail: t-ban@public-setsubi.co.jp
https://www.public-setsubi.co.jp

 **有限会社 アドイン設計**

〒424-0826 静岡市清水区万世町1-6-26
TEL 054-352-4982 FAX 054-352-9091
mail adin98@grape.plala.or.jp

■本社
〒420-0961 静岡市葵区岳美3-38
TEL 054-248-3011 FAX 054-248-6006

代表取締役
三ツ井 幹雄


建築設備設計・監理
有限会社 オサダ設計 一級建築士事務所

設備設計一級建築士・建築設備士

取締役 **長田 武士**

(一社) 日本設備設計事務所協会連合会正会員
(一社) 静岡県設備設計協会正会員
(公社) 空調調和・衛生工学会正会員

〒412-0046
静岡県御殿場市保土沢1157-748
TEL 0550-88-5911 FAX 0550-88-5912
E-Mail osada-t@tokai.or.jp

 **有限会社 コバヤシ設備設計事務所**

代表取締役 建築設備士 **小林 康秀**

〒421-0101
静岡市駿河区向敷地4丁目11-19 ロアール向敷地202
TEL (054) 257-3588・FAX (054) 259-2858
携帯 090-3252-4383
E-Mail: kobasetu@po2.across.or.jp

設備コンサルタント
セイブ設備計画

 **SEIBU
FACILITY 1978
CONSULTANT**

神谷 保孝
Yasutaka Kamiya

建築設備士
第一種冷凍空調技士

**有限会社 セイブ設備計画
二級建築士事務所**
〒435-0006
静岡県浜松市中央区下石田町1403
TEL 053-421-7515
FAX 053-421-7575
MAIL seibukami@zm.commufa.jp

有限会社 総合設備計画事務所

取締役 **川 端 猛 真**

〒424-0871
静岡市清水区上原2丁目1番39号
TEL 054-340-3105・FAX 054-340-3106
携帯 090-9188-2173
E-mail s-sougou@jazz.email.ne.jp

 **有限会社 モア設備設計事務所**

建築設備設計・管理、省エネ計画

代表取締役 **村 松 宏**

〒420-0871
静岡市葵区昭府1丁目20番16号
TEL: (054) 251-6558
FAX: (054) 251-6562
E-mail: ZVQ01540@nifty.ne.jp

祝 創立60周年

AISIN
We Touch the Future

株式会社 アイシン
エネルギーVCカンパニー
E-VC営業部 ヒートポンプ営業室
中部営業所グループ 所長
一級建築士 建築設備士
松 井 一 憲
Kazunori Matsui

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
Tel 080-6984-8952 Fax 0566-28-3506
E-mail: kazunori.matsui@aisin.co.jp

60TH ANNIVERSARY
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
NADE SHI KO 2024
DX戦略2024
Digital Transformation

新しい安心をかたちに
アイホン

名古屋支店 静岡営業所
所長
古 屋 崇

アイホン株式会社
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11番地17 桜井・第一共同ビル7F
TEL (054) 266-4110 FAX (054) 266-4311 携帯 090-5111-7684
E-mail: t_furuya@aiphone.co.jp
U R L: https://www.aiphone.co.jp/

空調システム機器製作販売
木村工機株式会社
名古屋営業本部
執行役員 本部長 **大 野 直 輝**

〒450-6427 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号
大名古屋ビルヂング 27F
TEL 050-3784-2630 (代表)
FAX 052-562-5011
E-mail: n-oono@kimukoh.co.jp

JPX STANDARD

KOYO ENGINEERING
光陽エンジニアリング株式会社
代表取締役
市 川 清 史
ICHIKAWA KIYOSHI

本社 〒421-0113 静岡市駿河区下川原4丁目26番28号
TEL (054) 257-3331 FAX (054) 257-3322
e-mail: ichikawa@koyo-eng.com
携帯 090-7021-5882
https://www.koyo-eng.com/

エコアクション21
認証番号0006702
《ISO9001 認証》

EXEO

住宅設備機器・管材・総合商社
株式会社 小泉東海
代表取締役社長 **西 野 雅 秋**

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂6-5-39
電話 054(202)7200
FAX 054(202)7288
人・街・未来へ
静岡県知事許可(特-27)第036383号 URL: https://www.koizumig.co.jp

sala **サーラエナジー株式会社**
浜松支社長
磐田営業所長
岡 本 三 男
〒435-0044 浜松市中央区西塚町200番地
TEL: 053-462-9324
FAX: 053-465-5518
E-mail: mo05334@sala.jp

Jubilo
C.2015 JUBILO
サーラグループはジュビロ静岡・プレス浜松を応援しています
森林認証紙を使用しています

SUN MASATO SUZUKI
CATV総合監理技術者
第一級デジタル通信工事担任者
55th for NEXT
静岡FS (フロンティア・サテライト)
FS長
鈴木 正人
情報通信システムのベストパートナー
サン電子株式会社
〒422-8064 静岡市駿河区新川2-1-40-1C TEL 054-203-3311(代) FAX 054-203-3301
E-mail m_suzuki@sun-ele.co.jp 携帯 090-2913-2077
WEBサイト https://sun-ele.co.jp

SHIZU-TAN
代表取締役
澤 田 耕 一
静岡タンク販売株式会社
〒421-0113 静岡市駿河区下川原4丁目26-12
TEL 054-266-6800 FAX 054-266-6801
携帯 090-5107-0865
E-mail: shizu-tan@hb.tp1.jp


祝 創立60周年



電気・通信・太陽光・空調・FA工事
株式会社 シズデン



代表取締役社長
増田 洋 健



本社 〒422-8006 静岡県駿河区曲金5丁目17番5号
TEL:054-284-4111(代) FAX:284-6753

エコアクション21
認証番号 0003983



SUZUYO GIKEN
<https://www.suzuyo-giken.co.jp>

代表取締役
杉山 和 幸
Sugiyama Kazuyuki

鈴与技研株式会社
〒422-8055 静岡県駿河区寿町12番35号
TEL. 054-281-3311 FAX. 054-282-2482



共に未来を創る
株式会社 すみや電器



代表取締役社長
営業部長
川嶋 順太郎

1級電気工事施工管理技士
第二種電気工事士

〒 420-0018 静岡県葵区土太夫町10番地
TEL 054(254)2421 FAX 054(254)3505
URL <https://www.sumiya-d.co.jp/>
E-mail juntaro_kawashima@sumiya-d.co.jp



ネクストノライト1000



共に未来を創る
株式会社 すみや電器



技術営業推進部 開発・公共・積算課
課長
久保 敦

〒 420-0018 静岡県葵区土太夫町10番地
TEL 054(254)3611 FAX 054(255)4142
URL <https://www.sumiya-d.co.jp/>
E-mail atsushi_kubo@sumiya-d.co.jp



ネクストノライト1000



セルコ株式会社
SEcurity, Look, COmmunication

代表取締役
西 川 和 宏

愛・感謝・誠意
「知行合一」

〒430-0802 静岡県浜松市中央区将監町7-14
TEL:053-463-1341 FAX:053-463-1366




販売推進部
販売推進グループ 静岡駐在
グループリーダー
望 月 豪
一級管工事施工管理技士



ダイキンHVACソリューション東海株式会社
〒422-8036 静岡県駿河区敷地1丁目12番7号
Tel: 054-236-5307 Fax: 054-236-5311
Mobile: 090-7043-1754
E-mail: suguru.mochizuki@grp.daikin.co.jp



**総合設備工事
土木工事**

代表取締役
芹 澤 真 一

株式会社 トーブ

本社 〒410-0062 静岡県沼津市宮前町10の4
TEL(055)921-5253(代) FAX(055)921-5254



中部電材営業部
静岡電材営業所
所長
竹内 宗蔵
のりただ

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
〒420-0817 静岡県静岡市葵区東静岡一丁目2番14号
TEL 054-261-8618 / FAX 054-263-7647
takeuchi.noritada@jp.panasonic.com

祝 創立60周年



HITACHI
Inspire the Next

空調ソリューション事業部
空調営業本部 中部支社
支社長

大山 弘二



ひとりのために、笑顔のある暮らしを

 **日立グローバルライフソリューションズ株式会社**

〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目5番12号 (ビフィックススクエア名古屋ビル2階)

TEL 050-3144-9821 FAX 050-3144-9827

E-mail : hiroji.oyama.ja@hitachi.com
corp.hitachi-gls.jp



exiida



クリーン＆グリーン電気給湯

製品情報は
こちらから



営業本部 事業開発部 営業開発課
次 長

望 月 克 弥

Mochiduki Katsuya

株式会社 **イトミョウ**

〒131-0045 東京都墨田区押上1-1-2
東京スカイツリーイーストタワー 24F
TEL：03-3621-2124 FAX：03-3621-2130
E-mail：katsuya_mochiduki@itomic.co.jp
mobile：090-9973-3139



本社にて取得

The image shows a business card for Beltecno Co., Ltd. The card is white with black text and logos. At the top left is a large, stylized 'B' logo. To its right is the company name '株式会社 ベルテクノ' in a bold, sans-serif font. On the right side of the card is a circular ISO 9001 certification logo with the text 'ISO 9001' and 'JQA-2646' below it. In the center, the text '代表取締役 社長' (Representative Director / President) is written above the name '竹下 和彦' (Takekita Kazuhiko) in a large, bold font. At the bottom, the address '愛知県名古屋市中区錦3-5-27' (Aichi Prefecture, Nagoya City, Naka-ku, Nishikatsu 3-5-27) is listed, followed by '錦中央ビル4階' (Nishikatsu Chuo Building 4th Floor), the phone number 'TEL(052)857-9001', and the email address 'k.takeshita@beltecno.co.jp'. On the far right edge, the text 'BELIECNO Corporation' is written vertically.



静岡支店長
家村 雄三

Ahead > Beyond



株式会社 荏原製作所 中部支社 静岡支店

〒420-0053 静岡県静岡市葵区弥勒2-5-28

Tel 054-251-7211 Fax 054-251-7677

Mobile 090-4228-5182

iemura.yuzo@ebara.com

<http://www.ebara.co.jp>



Ahead > Beyond

国内事業統括部

中日本営業部 静岡営業課 沼津営業所長

いし おどり まさる

石 踊 優

株式会社 荏原製作所 沼津営業所

建築・産業カンパニー

〒410-0058 静岡県沼津市沼北町2-19-1

Tel 055-923-9704 Fax 055-923-9642

Mobile 090-9397-8575

ishiodori.masaru@ebara.com

<http://www.ebara.com/jp-ja/>



100
年
が
経
過
し
て
い
ま
す

イノベーションセールスグループ グループリーダー

入 月 光 輝

Irizuki Mitsuteru

☎ ps-irizuki@psk.co.jp

温度と湿度の専門メーカー

ピーエス工業株式会社 東京営業所

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-1-3

Tel.03 3485 8811

Fax.03 3485 8833 M.080 9581 3780

<https://ps-group.co.jp>



Ahead > Beyond

国内事業統括部
 中日営業部 静岡営業課 営業所長
 うえだ ひさかず
 植田 久主

株式会社 荏原製作所 浜松営業所
 建築・産業カンパニー
 〒435-0005 静岡県浜松市中央区安新町168-3
 Tel 053-422-3211 Fax 053-422-3553
 Mobile 080-6570-4316
 ueda.hisakazu@ebara.com
<http://www.ebara.co.jp>

創立60周年記念式典

令和7年11月14日（金） ホテルアソシア静岡「駿府」

1 記念式典 午後2時30分～3時30分（司会：宮田量子）

- | | | |
|----------|--------------------|---------|
| 1) 開会の辞 | 実行委員長 | 名波 睦生 |
| 2) 会長挨拶 | 会 長 | 後藤 利基 |
| 3) 来賓紹介 | | |
| 4) 来賓祝辞 | 静岡県知事（代理 静岡県財務部部長） | 山田 勝彦 様 |
| 〃 | 衆議院議員 | 細野 豪志 様 |
| 〃 | 衆議院議員（代理 上川陽子 秘書） | 村松 潮見 様 |
| 〃 | 衆議院議員（代理 井林辰徳 秘書） | 伊藤 訓江 様 |
| 〃 | 静岡県議会議長 | 竹内 良訓 様 |
| 5) 祝電披露 | | |
| 6) 表彰状贈呈 | 会 長 | 後藤 利基 |
| 7) 閉会の辞 | 副 会 長 | 佐々木哲男 |

2 記念講演 午後3時45分～4時45分（司会：宮田量子）

- | | | |
|--------------------------|----------------------|------------|
| 1) 開会の辞 | 会 長 | 後藤 利基 |
| 2) 講師紹介 | | |
| 3) 講 師 | 落 語 | 真打 林家つる子 様 |
| 4) 講師プロフィール | | |
| 群馬県高崎市出身 | | |
| 中央大学文学部人文社会学科中国言語文化専攻 卒業 | | |
| ぐんま特使 | | |
| 日本舞踊坂東流名取「坂東蝶子」 | | |
| 2010年9月 | 九代林家正蔵に弟子入り | |
| 2015年11月 | 二つ目に昇進 | |
| 2019年9月 | 第11回前橋若手落語家選手権優勝 | |
| 2021年3月 | 第20回さがみはら若手落語家選手権優勝 | |
| 2021年11月 | NHK新人落語大賞決勝戦進出 | |
| 2022年9月 | 第33回北とぴあ若手落語家競演会奨励賞 | |
| 2022年10月 | NHK新人落語大賞決勝戦進出 | |
| 2024年3月 | 落語界で女性初となる抜擢真打昇進を果たす | |

3 記念祝賀会 午後5時～7時（司会：宮田量子）

- | | | |
|---------|---|---------|
| 1) 開会の辞 | 実行委員長 | 名波 睦生 |
| 2) 会長挨拶 | 会 長 | 後藤 利基 |
| 3) 来賓紹介 | | |
| 4) 来賓祝辞 | 顧問静岡県議会議員 | 天野 一 様 |
| 〃 | （一社）日本設備設計事務所協会連合会会長 | 高木 俊幸 様 |
| 5) 乾杯挨拶 | パナソニック株式会社エレクトリックワークス社
中部電材営業部 静岡電材営業所 所長 | 竹内 宗蔵 様 |
| 6) 祝 宴 | アトラクション
「ジャンル不問のよろずライブ 明るく爽やかなひとときをお届け」演奏：Mimi | |
| 7) 閉会の辞 | （一社）静岡県設備設計協会副会長 | 杉山 敬 様 |

来 賓 名 簿

○静岡県知事

(代理 静岡県財務部部長) 山田 勝彦 様

○国会・県議会議員

衆議院議員	細野 豪志 様	静岡県議会議長	竹内 良訓 様
衆議院議員 (代理 上川陽子 秘書)	村松 潮見 様	顧問静岡県議会議員	天野 一 様
衆議院議員 (代理 井林辰徳 秘書)	伊藤 訓江 様		

○静岡県

財務部参事	稲垣 勝美 様	財務部設備課技監	鈴木 正 様
財務部設備課課長	久保池一博 様	財務部設備課課長代理	鈴木 英樹 様
財務部設備課土木支援室長	清水 靖久 様		

○静岡市

都市局建築部設備課課長 永野 輝雄 様

○浜松市

財務部副参事兼公共建築課長補佐 宮島 淳 様

○日設協関係

(一社) 日本設備設計事務所協会連合会会長	高木 俊幸 様
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会副会長	村上 正継 様
(一社) 日本設備設計事務所協会連合会事務局長	氏家 基彦 様

○都道府県協会

(一社) 愛知県設備設計監理協会会長	植田 亮 様	(一社) 愛知県設備設計監理協会専務理事	杉浦 肇 様
(一社) 岐阜県設備設計事務所協会副会長	増田 素之 様	(一社) 石川県設備設計監理協会副会長	宮江 勇治 様
(一社) 福井県設備設計事務所協会会長	松山 憲雄 様	(一社) 三重県設備設計事務所協会会長	森本 祐史 様

○関係団体

(公社) 静岡県建築士会会長	松下 好宏 様
特定非営利活動法人	
静岡県建築物安全確保支援協会専務理事	石田 高久 様
(一社) 静岡県建築士事務所協会副会長	立道 浩幸 様
(一社) 建築設備技術者協会中部支部静岡支所長	黒田 慎二 様
(一社) 静岡県設備協会会長	柴 敦司 様
(一社) 静岡県電業協会会長	夏目 英明 様
(公社) 日本建築家協会東海支部静岡地域会会長	石橋 剛 様
静岡設計監理協同組合理事長	高橋 辰弥 様
静岡県電気工事工業組合理事長	前嶋 純 様
(一社) ふじのくに消防防災業協会参与	松坂 直和 様
(一社) 静岡県冷凍空調工業会会長	三輪高太郎 様
(一社) 静岡県フロン回収事業協会代表理事	梅原 啓一 様
(一社) 静岡県浄化槽協会理事長	大沼 智 様
静岡県厨房設備業協会会長	小栗 豊人 様
静岡県立工科短期大学校非常勤講師	山森 繁 様

○報道機関

(株)建通新聞社静岡支局長 松島 正智 様



設立60周年によせて

11代会長 三ツ井 幹 雄

協会設立60周年おめでとうございます。

早いもので10年前に会長を務めさせて頂きました時に、協会設立50周年を開催させて頂きました。

お忙しい中、県内外から業界関係の多数の参加を頂きまして大変感動致しました。

それから10年経過しました、本当に年の経過は早いものです。

我々の業界もこの10年で、大変革しました。設計作業も積算作業もほとんどの作業はC A D化され、手作業はほとんど無くなりました。建築設計・設備設計の事務所には、手作業はなく、パソコンとコピー機が各担当者に、1～2、3台並べて作業を行っています。(これが普通の状態です)

当協会も、先輩諸氏の頑張り、県・市・町のご理解で、設備設計にも陽が当たりまして成長してきました、大変革の中の10年であったと思います。

現状の設備設計業界は、大都市の人手不足・工事費の高騰・作業時間の制約等により、設計者の減少が広がって居り、設計者の人手不足が、顕著になって来て居ます。

これからは、諸官庁・建築設計・ゼネコン・サブコン・各種メーカー等と詳細な打ち合わせを行い共に共存出来る業界にして行きたいと考えて行きたいと思っています。

これからも当協会を応援し、盛り上げて、会員を増員出来る様頑張って行きたいと思っています。



創立60周年おめでとうございます

12代会長 植 田 賢 司

創立60周年おめでとうございます。

私も設備設計業界に携わり、半世紀経過しました。設備設計協会に入会させていただき、諸先輩方の指導を受け現在に至っております。

協会設立時の60年前（1965年）は、東京オリンピックや新幹線の開通で、日本が大きく飛躍し、国際的に地位向上し、日本が元気な時代だったと思います。

その反面、公害問題（水俣病や四日市ぜんそく）が社会的に注目され、環境問題への関心が高まりはじめた時期でもあります。

設備設計の業務形態が過去60年間でどのように変化したかを顧みると、当時はドラフターを使用し、トレーシングペーパーに手書きで設計図を書いていました。

設備工事の諸計算（空調負荷計算等）も電卓や計算尺等を使用し、積算作業ではそろばんを使用している方も居ました。

平成になり、コンピューターの普及により、設計手段がC A D化され、様々な計算もパソコンで処理できるようになり、業務速度が格段に早くなりました。

C A D化の初期段階は、インターネットも普及していなかったので、C A Dデーターをフロッピーデスクに書き込み、データーのやり取りをしていました。

現在の、ネット環境を考えると、設計図がC A D化されたとはいえ、随分アナログな部分も多くあったような気がします。

60年前と比し設備設計の作業環境が格段と進化し便利にはなっていますが、設備設計業務の基本はほとんど変わっていません。

現在、戦争や紛争が多発し、関税問題などで世界全体が混迷している中で、毎年世界各地で地球温暖化が起因していると思われる様々な自然災害が発生していますが、このような異常気象も、定常化しつつあるような気がします。

気候変動への対応が急務となる中、カーボンニュートラルの達成に向けた動きが加速し、再生可能エネルギーの導入とその効率化が求められています。

現在直面している、建築設備設計業界の問題点として、高齢化・若手の流入不足・技術革新（A I、BIM）への対応など、多くの深刻な問題点があります。

私は設備設計の経験者として、社会から求められる持続可能性、効率性、機能性、安全性、快適性、コスト管理等様々な要素に対応できる若手技術者の育成が急務だと考えています。

協会の増々の発展を祈念し、祝辞と致します。



静岡県設備設計協会60周年に寄せて

13代会長 神谷保孝

設備設計協会の60周年、心よりお祝い申し上げます。

創立当初はわずか8事務所ほどでスタートしたと伺っていますが、現在は約20社にまで発展し、長きにわたり業界を支えてこられました。

私は1970年代に建築設備の世界へ足を踏み入れました。当時は「図面を描いて収入を得る」という発想さえなく、ただ夢中で仕事を覚えていたことを思い出します。

当時の設備といえば、照明・衛生・暖房が主で、「快適性」よりも「施工されていれば十分」という考えが一般的でした。

やがて「空調設備」という言葉が使われるようになり、私は「空気の温度・湿度・気流を調整する仕事だよ」と一般の方に説明していました。

設計資料や教育機関はまだ乏しく、図面や根拠資料を整えるのに大変苦勞したものです。空調設計では、井上宇市先生の『空気調和ハンドブック』を片手に、ドラフター上で図面用紙を真っ黒にしながら仕上げた日々が懐かしく思い出されます。

当時の空気調和工事の施工業者は利益も大きく、現場では豪勢な宴会を開くこともあったと先輩方から伺いました。また、ある設備設計事務所に打合せに行った際、駐車場に外車がずらりと並んでいて、「いつかは自分も」と志を新たにしたり、という話も印象に残っています。

設備の歩みと私の記憶

- 1960～70年代：オイルショック前後、空調の普及、ビル設備の機械化
- 1980年代：省エネ設計の始まり、BEMSの萌芽、CADの登場
- 1990年代：バブル崩壊後の合理化、インバータ制御、建築基準法の改正
- 2000年代：環境配慮型設備、CASBEEやESCO事業、地球温暖化対策
- 2010年代：ZEB/ZEH、IoTやAIを活用したスマートビル
- 2020年代：カーボンニュートラル、再エネとの連携、レジリエンスを重視した設備設計

オイルショックのころは、世界的な石油不足と価格高騰により、日本でも物価が急上昇しました。建築資材が現場に届かず、工期の見通しが立たないほどで、世界の動きが私たちの仕事に直結していることを強く感じた出来事でした。

これからの設備士へ

協会は今や三代にわたり、設備業界も技術や法制度の大きな転換期を迎えています。

環境・防災・デジタル化といった社会の要請に応えるため、設備は一層複雑化していくでしょう。その中で属人化のリスクを減らし、ITを活用した業務の標準化を進めることが求められます。

また、人手不足や働き方改革への対応も欠かせません。女性や子育て世代の採用、在宅勤務の活用、終身雇用にとらわれない柔軟な勤務体制の導入など、多様な人材が活躍できる環境づくりが重要です。設計業務の工程を統一し、作業時間の短縮と図面品質の向上を同時に目指す取り組みも必要だと感じます。

私たち設備士は、仕事を通じて地球環境や人々の暮らしをより良いものにし、社会の重要な一員であり続けたいと願っています。

25

年 月	主 な 行 事			その年の出来事	
1977 昭和52年	通	常	5月 県営繕課と懇談会	北海道有珠山噴火 王貞治HR756号世界新記録	
1978 昭和53年				成田新国際空港開港 日中平和友好条約調印 宮城県沖地震	
1979 昭和54年				第2次石油ショック 東名日本坂トンネル事故	
1980 昭和55年			6月 県関係各課と懇談会 10月 協会便り発行	静岡駅前地下街ガス爆発事故 省エネルック	
1981 昭和56年				神戸ポートピア'81 日米自動車摩擦	
1982 昭和57年			3月 中部電業協会と懇談会 8月 住宅展	東北・上越新幹線開業 ホテルニュージャパン火災 テレホンカード登場	 塩沢会長
1983 昭和58年				東京ディズニーランド開園 三宅島大噴火 ファミコン発売(任天堂)	
1984 昭和59年			11月 住宅展	グリコ森永事件 日本 世界一の長寿国へ	 大竹副会長
1985 昭和60年				日航ジャンボ機 御巣鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	
1986 昭和61年			6月 住宅展	チェルノブイリ原子力 発電所爆発事故 三原山大噴火 建築設備士制度施行	 白鳥副会長
1987 昭和62年				国鉄民営化「JR」発足 バブル経済始まる	
1988 昭和63年	総	会	9月 住宅展 11月 設備協会と懇談会 12月 「日本設備設計事務所協会連合会」 発足、発会式(東京日本青年館) 12月 臨時総会	創立20周年記念式典 御巣鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	
1985 昭和60年				日航ジャンボ機 御巣鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	
1986 昭和61年			7月 日本設備設計事務所協会理事会 (倉敷市) 10月 住宅展	チェルノブイリ原子力 発電所爆発事故 三原山大噴火 建築設備士制度施行	
1987 昭和62年				国鉄民営化「JR」発足 バブル経済始まる	
1988 昭和63年			1月 新年名刺交換会 日本設備設計事務所協会理事会 (2月 蒲安市、11月 東京都)	青函トンネル開通 瀬戸大橋開通 リクルート事件	
1989 昭和64年				創立20周年記念式典 御巣鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	
1990 昭和65年			1月 新年名刺交換会 日本設備設計事務所協会理事会 (4月 熱海市、10月 東京都) EPC発足(東部地区会) 7月 広報誌「風とあかり」 創刊号発刊 10月 住宅展	チェルノブイリ原子力 発電所爆発事故 三原山大噴火 建築設備士制度施行	
1991 昭和66年				国鉄民営化「JR」発足 バブル経済始まる	
1992 昭和67年			7月 広報誌「風とあかり」 創刊号発刊 10月 住宅展	青函トンネル開通 瀬戸大橋開通 リクルート事件	
1993 昭和68年				創立20周年記念式典 御巣鷹山墜落事故 NTT、日本たばこ産業 (JT) 発足	

年 月	主 な 行 事				その年の出来事	
1989 平成元年	通 常 総 会	県 関 係 各 課 と 懇 談 会	日	9月 住宅展 11月 設事連中部ブロック研修会 (金沢市)	昭和天皇崩御 消費税(3%)開始 ベルリンの壁崩壊	 県関係各課と懇談会
1990 平成2年			本 設	1月 新年名刺交換会 10月 住宅展 11月 設事連中部ブロック会主催 (中部6県、伊豆長岡町)	礼宮様・紀子様ご成婚 東西ドイツ統一	
1991 平成3年			備 設	11月 住宅展 12月 技術講習会	バブル崩壊 雲仙普賢岳噴火 湾岸戦争勃発	
1992 平成4年		年 事 務 所 賀 協 会	計	9月 住宅展 10月 設事連中部ブロック会議 (福井県芦原) 11月 技術講演会	東京佐川急便事件 東海道新幹線で「のぞみ」 運転開始	 柏崎刈羽原子力発電所研修会
1993 平成5年			務	4月 協会新事務所開設 (東京堂ビル208号) 5月 静岡県設備室と三役懇談会 9月 住宅展 10月 設事連中部ブロック会議 (富山市)	皇太子様・雅子様「結婚の儀」 Jリーグ開幕 冷夏、異常気象が襲う	
1994 平成6年			会	6月 静岡県設備室との懇談会 9月 設事連中部ブロック会議 (岐阜県) 9月 住宅展 10月 設備技術者講習会(東部・中部・西部)	関西国際空港開港 松本サリン事件	
1995 平成7年			動 参 加	6月 静岡県設備室との懇談会 9月 (社)日本設備設計事務所協会 北陸甲信越ブロック・中部ブロック 理事及び各県代表者会議 10月 住宅展 11月 創立30周年記念式典 (静岡市ホテルアソシア)	阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件	
1996 平成8年		歓 理 事 会 会	理	2月 県建築課、設備室との意見交換会 5月 (社)日設協中部・北陸甲信越ブロック会議 9月 住宅展	ペルー日本大使館公邸人質事件 原爆ドーム世界遺産登録	 千葉市高津 新エネルギーパーク研修会
1997 平成9年			事	5月 (社)日本設備設計事務所協会総会 6月 県設備課との懇談会 設備設計相談 (清水、磐田、藤枝各市役所) 10月 (社)日設協北陸甲信越・中部ブロック会議 (金沢市・ホテル日航金沢)	消費税5%スタート 東京湾アクアライン開通	
1998 平成10年			会	1月 新年賀詞交歓会 7月 (社)日本設備設計事務所協会 全国事務局長会議(東京都・明治記念館) 9月 住宅展 9月 県設備課との懇談会	長野冬季オリンピック開催 サッカーW杯仏大会初出場	
			設 備 設 計 無 料 相 談 会			

年 月	主 な 行 事				その年の出来事					
1999 平成11年	通 常 総 会	理 事 会	設 備 設 計 無 料 相 談 会	1 月 新年賀詞交歓会 4 月 空調用新冷媒の技術講習会 (静岡市・JR東海静岡社員センター)	東海村臨界事故 N T T 分割					
2000 平成12年				1 月 新年賀詞交歓会 2 月 循環型社会の水リサイクルを考える シンポジウム (水処理協会共催) 2 月 県設備室「設備設計技術検討会」 9 月 住宅展	有珠山・三宅島噴火 新二千円札発行 BSデジタル放送開始					
組織名					社団法人静岡県設備設計協会 平成13年2月23日登記					
2001 平成13年				通 常 総 会	理 事 会		設 備 設 計 無 料 相 談 会	1 月 社団法人設立総会 5 月 (社)発足記念式典祝賀会 9 月 住宅展 9 月 掛川工業高校との対話 10月 北陸甲信越・中部ブロック会議 (三重県)	米国同時多発テロ事件 大阪・池田小学校殺人事件	
2002 平成14年	2 月 日設協臨時総会 4 月 沼津市松長海岸清掃奉仕作業 8 月 建築設備耐震診断技術講習会 10月 北陸甲信越・中部ブロック会議 11月 設備設計三団体浜松市長と懇談会 11月 会員研修会 12月 地球温暖化講演会	サッカーW杯日韓共同開催 日朝首脳会談								
2003 平成15年	1 月 建築五団体賀詞交歓会 2 月 設備協会共同研修会 掛川工業高校との交流対談 (2月、9月) 9 月 北陸甲信越・中部ブロック会議 10月 国交省中部地方整備局 東海4県協会と意見交換会 11月 KHP空調講習会 11月 会員研修会	東海道新幹線「品川駅」開業 宮崎駿監督 「千と千尋の神隠し」が アカデミー賞獲得								
2004 平成16年	1 月 建築五団体賀詞交歓会 3 月 掛川工業高校との交流対談 4 月 共同事業推進委員会技術研修会 4 月 沼津千本浜海岸清掃及び網引き 10月 静岡市中島浄化センター見学	新潟県中越地震 スマトラ沖地震 裁判員制度法成立								
2005 平成17年	1 月 建築五団体賀詞交歓会 2 月 掛川工業高校との交流対談 3 月 共同事業推進委員会技術研修会 3 月 県設備室公益法人監査 4 月 沼津松長海岸清掃奉仕 4 月 電子入札研修会 5 月 (社)日本設備設計事務所協会通常総会 7 月 県企業局富士川浄水場見学会 8 月 北陸甲信越中部ブロック会議 10月 住宅展 11月 創立40周年記念式典	個人情報保護法施行 愛知万博開催 平成の大合併50市町誕生								

年 月	主 な 行 事			その年の出来事	
2006 平成18年	通 理 設	事 備	2月 掛川工業高等学校設備課の就業体験受入れ 8月 堀江顧問総会&納涼会 浜井顧問歓迎納涼会 9月 静岡市沼上清掃工場見学(地球環境委員会) 第12回北陸・甲信越・中部ブロック会議 電子入札登録研修会(業務委員会) 10月 住まい博静岡県住宅展(業務委員会) ロンワークスセミナー(技術委員会)	トリノ五輪で荒川静香が金メダル獲得 男子の皇族41年ぶりに誕生(悠仁様)	
2007 平成19年			1月 日設協地区代表者会及び新年の集い 建築五団体賀詞交歓会 2月 講演会「心と体」(地球環境委員会) 3月 共同事業研修会:京セラ本社及び北淡路町防災記念公園見学会(技術委員会) 5月 日設協地区代表者会、第53回通常総会 7月 国交省中部地方整備局営繕部設備課との東海4県技術研修会 9月 燃料電池新技術情報及びLNG基地見学会 10月 第13回北陸・甲信越・中部ブロック会議	温家宝中国首相来日 郵政民営化スタート 「ねんきん特別便」 発送開始	
2008 平成20年	常 計	運 無	1月 日設協地区代表者会、新年の集い 建築五団体賀詞交歓会 2月 技術講習会(技術委員会) 6月 静岡県総務部設備室との意見交換会 7月 新公益法人制度に関する説明会 9月 静岡県住まい博2008 東海4県連絡会議天野一静岡県議会議長就任祝賀会 10月 技術講習会(技術委員会) 11月 静岡市設備課との技術連絡会 サッポロビール(株)静岡工場見学会(地球環境委員会)	中国冷凍ギョウザから有毒成分メタミドホス検出 後期高齢者医療制度スタート	
2009 平成21年			1月 建築五団体賀詞交歓会 2月 共同事業視察研修旅行 3月 地球環境講演会 清水三保真崎灯台周辺海岸清掃活動 5月 東海4県会長会議 8月 富士山一斉清掃活動に参加 国交省中部地方整備局営繕部と東海3県の技術連絡会 静岡県設備室との意見交換会 中部ブロック会議 10月 技術講習会 11月 (株)三保造船所見学会 静岡市設備課との技術連絡会	衆院選で民主党勝利 政権交代へ 裁判員制度スタート	
2010 平成22年	総 委 相	員 談	1月 建築五団体賀詞交歓会 2月 古橋広之進記念浜松総合水泳場見学会 3月 東海4県会長会議 清水三保真崎灯台周辺海岸清掃活動 6月 静岡県設備課との意見交換会 9月 中国上海海外視察旅行 省エネ法・温対法対応の実務と高効率ガスシステム説明会 第16回北陸・甲信越・中部ブロック会議 静岡県住まい博2010 10月 静岡県営繕工事における特記仕様書改定説明会 東海4県ブロック会議 技術講習会 12月 技術見学会、講演会	尖閣諸島問題浮上 宮崎県で口蹄疫問題発生 羽田空港32年ぶり 国際定期便再開	
					

年 月		主 な 行 事				その年の出来事			
2011 平成23年		通 理 事 会 常 ・ 計 運 無 營 料 相 員 談 会 会 会	設 備 会 設 計 無 料 相 員 談 会 会 会	1 月	国交省中部地方整備局営繕部と 中部ブロックの技術連絡会 建築五団体賀詞交歓会	東日本大震災			
	2 月			共同事業推進委員会視察研修	東京電力 福島第一原発事故				
	3 月			静岡県設備課による産廃積算説明会					
	6 月			静岡県設備課との意見交換会	サッカー女子W杯 なでしこJapan優勝				
	9 月			入札研修会					
	10 月			第17回北陸・甲信越・中部ブロック会議 技術・環境講習会					
	12 月			会員研修会 静岡県住まい博2011					
2012 平成24年					1 月	建築団体賀詞交歓会		東京スカイツリー開業	
	2 月			技術講習会	尖閣3島を購入、国有化閣議 決定、中国で反日暴動				
	4 月			国交省中部地方整備局営繕部と 中部ブロックの技術連絡会 中部電力(株)浜岡原子力発電所視 察研修	衆院選で自民党圧勝 政権奪還				
	9 月			設計図書の取扱い改正等に伴う 設計業務に係る説明会					
	9 月			静岡県設備課との意見交換会					
	第18回北陸・甲信越・中部ブロック会議								
	10 月	技術・環境講習会							
	11 月	会員研修会							
組織名		一般社団法人静岡県設備設計協会 平成25年4月1日登記							
2013 平成25年		通 理 事 会 常 ・ 計 運 無 營 料 相 員 談 会 会 会	設 備 会 設 計 無 料 相 員 談 会 会 会	1 月	建築五団体賀詞交歓会	富士山、世界文化遺産登録			
	2 月			東海4県技術連絡会・中部地方 整備局との意見交換会	2020年東京オリンピック・ パラリンピック開催決定				
	3 月			大和ハウス総合技術研究所視察 研修					
	5 月			静岡ガス(株)本社ビル見学会					
	9 月			静岡県設備課との意見交換会					
	10 月			第19回北陸・甲信越・中部ブロック会議 技術講習会 環境にやさしい建築工事特記仕 様書講習会					
2014 平成26年					1 月	建築五団体賀詞交歓会		消費税8%スタート	
	2 月			東海4県技術連絡会・ 中部地方整備局との意見交換会 技術講習会	御嶽山噴火				
	6 月			第20回北陸・甲信越・中部ブロック会議	「袴田事件」再審開始と 死刑・拘置の執行停止を決定				
	9 月			静岡県設備課との意見交換会					
	10 月			自民党静岡県支部連合会党員・ 党友の集い 技術講習会					
	11 月			東海4件設備設計協会情報交換会 設備設計関係協会全国会長会議					
	12 月	天の一県政報告会							
		第1回定時総会							

*各年度の詳細については、VOL.37「50年のあゆみ」をご覧ください。

2015

平成27年

北陸新幹線開業
安保法案可決成立
マイナンバー制度スタート

1月

- 7日 静岡県知事への年始挨拶
- 23日 建築関係団体新年会

静岡県庁
ホテルアソシア静岡

2月

- 2日 東海4県技術連絡会 中部地方整備局との意見交換会
- 13日 草薙総合運動場見学
- 27日～ 共同事業視察研修会
- 28日

中部地方整備局
草薙総合運動場
東京・埼玉

3月

- 12日 技術見学会
- 13日 理事会

掛川特別支援学校
協会事務所

4月

- 7日 設備設計無料相談会
- 28日 理事会

清水区役所
協会事務所

5月

- 22日 第3回定時総会

クーポール会館

6月

- 25日 天の一と企業・団体合同勉強会

クーポール会館

7月

- 17日 理事会

協会事務所

9月

- 4日 静岡県設備課との意見交換会
- 11日 理事会
- 28日 吉川雄二静岡県議会議長就任祝賀会

産学交流センター
協会事務所
ホテルセンチュリー静岡

10月

- 2日～ 第21回北陸・甲信越・中部ブロック会議
- 3日
- 16日 自由民主党静岡支部連合会 党員・党友の集い
- 30日 技術講習会

甲府富士屋ホテル
ホテルセンチュリー静岡
産学交流センター

11月

- 6日 理事会
- 20日 創立50周年記念行事
- 25日 静岡県議会議員天の一県政報告会

協会事務所
ホテルアソシア静岡
ホテルセンチュリー静岡

12月

- 18日 静岡県フロン排出抑制連絡会議

静岡県庁



50周年記念コンペ



50周年記念式典



技術講習会

2016

平成28年

熊本地震
伊勢志摩サミット開催

1月

- 5日 静岡県知事への年始挨拶
- 22日 建築関係団体新年会

静岡県庁
ホテルアソシア静岡

2月

- 7日 望月よしお新春賀詞交歓会
- 12日 技術講習会（共同事業推進委員会）
- 15日 中部地方整備局営繕部との意見交換会

清水マリンターミナル
産学交流センター
中部地方整備局

3月

- 11日 理事会

協会事務所

4月

- 22日 理事会

協会事務所

5月

- 20日 第4回定時総会

クーポール会館

7月

- 15日 理事会
- 25日 衆議院議員「望月義夫を励ます会」

協会事務所
マナーハウス・エリザベート

9月

- 28日 まちみがきセミナー

グランシップ中ホール

10月

- 7日 県設備課との意見交換会
- 14日 自由民主党静岡支部連合会 党員・党友の集い
- 14日～ 北陸甲信越中部ブロック会議
- 15日
- 28日 技術講習会

産学交流センター
ホテルセンチュリー静岡
三重県津市
産学交流センター

11月

- 25日 静岡県議会議員天の一派政報告会

ホテルアソシア静岡

12月

- 2日 理事会
- 2日 会員交流会

ホテルサンミ倶楽部
ホテルサンミ倶楽部



総会 ミツ井会長



技術講習会



会員交流会

2017

平成29年

天皇退位特別法案成立
2019年4月末退位
九州北部豪雨

1月

6日 静岡県知事への年始挨拶
20日 建築関係団体新年会

静岡県庁
ホテルアソシア静岡

2月

12日 望月よしお新春賀詞交歓会
13日 中部地方整備局営繕部との意見交換会
24日～ 共同事業視察研修

清水マリントーミナル
中部地方整備局
和歌山・奈良

25日

3月

24日 理事会

協会事務所

4月

28日 理事会

協会事務所

5月

19日 第5回定時総会
31日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会臨時総会

クーポール会館
如水会館

6月

23日 理事会

協会事務所

7月

10日 東海ブロック意見交換会

(一社) 愛知県設備設計
監理協会事務所
パレスホテル掛川
マナーハウス・エリザベート

27日 第53回全国設備工業教育研究会静岡大会
31日 衆議院議員「望月義夫を励ます会」

9月

8日 理事会
8日 県設備課との意見交換会
25日 まちみがきセミナー

協会事務所
産学交流センター
グランシップ中ホール

10月

13日 技術講習会
16日 静岡県フロン排出抑制連絡会議
20日 日設事連第1回指定代表者会議
20日 日設事連創立50周年連合会移行記念行事
20日 静岡設計監理協同組合設立30周年記念式典
27日 自由民主党静岡支部連合会 党員・党友の集い
27日～ 第1回東海・北信越ブロック協議会

産学交流センター
静岡県庁
如水会館
如水会館
グラディエールブuketーカイ
ホテルセンチュリー静岡
名古屋クラウンホテル

28日

11月

17日 技術見学会

静岡ガス&
パワー富士発電所
ホテルアソシア静岡

28日 静岡県議会議員天の一県政報告会

12月

8日 理事会
8日 会員交流会

協会事務所
ホテルアソシア静岡



建築関係団体新年会



三菱電機和歌山工場



第1回東海・北信越ブロック協議会

2018

平成30年

平昌冬季オリンピック開幕
西日本豪雨死者220人超
北海道胆振地震

1月		
5日	静岡県知事への年始挨拶	静岡県庁
30日	(一社) 日本設備設計事務所協会連合会第2回指定代表者会議	如水会館
30日	(一社) 日本設備設計事務所協会連合会 新年のつどい	如水会館
2月		
9日	技術講習会(共同事業推進委員会)	産学交流センター
16日	中部地方整備局営繕部との意見交換会	中部地方整備局
3月		
9日	理事会	協会事務所
5月		
2日	理事会	協会事務所
18日	第6回定時総会	クーボール会館
6月		
28日	(一社) 日本設備設計事務所協会連合会第66回定時総会	如水会館
7月		
4日	全国管工事業共同組合連合会第58回全国大会	グランシップ
20日	理事会	協会事務所
27日	日設事連東海ブロック意見交換会	(一社) 愛知県設備設計 監理協会事務所
8月		
7日	無料建築相談会	清水区役所
9月		
2日～	第2回東海・北信越ブロック協議会	富山市 呉羽ハイツ
3日		
14日	県設備課との意見交換会	産学交流センター
10月		
12日	理事会	
12日	自由民主党静岡支部連合会 党員・党友の集い	ホテルセンチュリー静岡
15日	まちみがきセミナー	グランシップ中ホール
11月		
2日	(一社) 静岡県建築士事務所協会創立50周年記念行事	グラディエールブuketーカイ
14日	座談会(株)建通新聞社企画)	建通新聞社
16日～	共同事業視察研修	滋賀・福井
17日		
28日	政治生活40周年記念天の一県政報告会 感謝の会	ホテルアソシア静岡
12月		
4日	無料建築相談会	清水区役所
7日	理事会	協会事務所
7日	会員交流会	ホテルアソシア静岡



知事への年始挨拶



第2回東海・北信越ブロック協議会



会員交流会

2019

平成31年 令和元年

天皇陛下即位「令和」に
改元
ラグビーW杯日本大会
開幕 日本8強
京都アニメーション放火
36人死亡

1月

7日 静岡県知事への年始挨拶
29日 日設事連第3回指定代表者会議
29日 静岡県議会議員天の一応援企業団体選対会議

静岡県庁
如水会館
もくせい会館

2月

8日 天野顧問と語る会
14日 中部地方整備局営繕部との意見交換会

ホテルアソシア静岡
中部地方整備局

3月

8日 理事会
14日 「天野顧問を囲む会」

協会事務所
中島屋グランドホテル

4月

26日 理事会

協会事務所

5月

17日 第7回定時総会

クーポール会館

6月

3日 (一社)日本設備設計事務所協会連合会第67回定時総会
17日 静岡県議会議員天の一県政報告会

如水会館
クーポール会館

7月

17日 第5回東海ブロック連絡会

中部電力東桜会館

8月

9日 一般競争入札に関する陳情書提出
23日 日設事連第1回管理委員会
30日 技術講習会

県教育会館
日設事連事務局
産学交流センター

9月

6日 理事会
13日 県設備課との意見交換会

協会事務所
産学交流センター

10月

7日 静岡県フロン排出抑制連絡会議
18日 自由民主党静岡支部連合会 党員・党友の集い
25日～ (一社)日本設備設計事務所協会連合会
26日 第3回東海・北信越ブロック協議会

静岡県庁
ホテルセンチュリー静岡
ホテルセンチュリー静岡

11月

25日 まちみがきセミナー
26日 静岡県議会議員天の一県政報告会
29日 共同事業視察研修

グランシップ中ホール
ホテルアソシア静岡
中部電力(株)名城変電所

12月

6日 理事会
17日 日設事連第2回管理委員会

協会事務所
日設事連事務局



第3回東海・北信越ブロック協議会



第3回東海・北信越ブロック協議会



視察研修 名城変電所

2020

令和2年

新型コロナウイルス
感染拡大緊急事態宣言
発令
東京オリンピック延期

1月

7日 静岡県知事への年始挨拶
28日 日設事連第1回正会員会長会議等
31日 会員交流会

静岡県庁
如水会館
ホテルアソシア静岡

2月

12日 中部地方整備局営繕部との意見交換会

中部地方整備局

4月

30日 みなし理事会（書面）

5月

29日 第8回定時総会（みなし総会）

6月

5日 理事会
29日 （一社）日本設備設計事務所協会連合会第68回定時総会

クーポール会館
如水会館+zoom

7月

21日 東海ブロック連絡会

web会議

10月

9日 静岡県建築設計等委託料算定基準説明会
9日 県設備課との意見交換会
30日 第4回東海・北信越ブロック協議会

クーポール会館
クーポール会館
ホテルメルパルク長野+zoom

11月

13日 理事会
25日 日設事連管理委員会

ホテルアソシア静岡
日設事連事務局+zoom



知事への年始挨拶



知事への年始挨拶

2021

令和3年

新型コロナワクチン
接種開始
熱海土石流発生
東京オリンピック
日本は史上最多58メダル

3月

5日 日設事連第2回管理委員会 zoom
12日 理事会 ホテルアソシア静岡

4月

23日 理事会 パルシェ会議室
28日 日設事連第405回理事会及び次期理事予定者合同会議 東京+zoom

5月

14日 第9回定時総会（みなし総会）
19日 静岡県議会議員天の一県政報告会 もくせい会館

6月

18日 理事会 パルシェ会議室

7月

13日 日設事連第408回理事会 エッサム神田ホール+zoom
30日 日設事連第8回東海ブロック連絡会 zoom

9月

17日 理事会 zoom
28日 日設事連第1回総務委員会 zoom

10月

1日 第5回東海・北信越ブロック会議 zoom
7日 リコー環境事業開発センター見学会 リコー環境事業開発センター
20日 県設備課との意見交換会 産学交流センター

11月

16日 日設事連第409回理事会 エッサム神田ホール+zoom
24日 日設事連第2回総務委員会 zoom

12月

10日 理事会 パルシェ会議室
20日 日設事連第2回管理委員会 zoom



知事への年始挨拶



リコー環境事業開発センター見学会

2022

令和4年

安倍元首相銃撃死亡
北京冬季オリンピック
開幕

1月

5日 静岡県知事への年始挨拶
14日 天野顧問と語る会
28日 日設事連第410回理事会
28日 日設事連正会員会長会議

静岡県庁
ホテルアソシア静岡
zoom
zoom

2月

2日 県設備課との意見交換会
7日 日設事連第3回管理委員会

静岡県庁
zoom

3月

9日 日設事連第4回管理委員会
11日 理事会

zoom
パルシェ会議室

4月

21日 自由民主党静岡県連 党員・党友の集い
22日 理事会

ホテルグランヒルズ静岡
zoom

5月

24日 第10回定時総会

ホテルアソシア静岡

6月

6日 日設事連第1回管理委員会
9日 まちみがきセミナー
10日 中部地方整備局営繕部との意見交換会
24日 理事会
29日 日設事連理事会
29日 日設事連第70回定時総会

zoom
ホテルアソシア静岡
中部地方整備局
パルシェ会議室
如水会館+zoom
如水会館+zoom

7月

7日 県立工科短期大学校訪問
14日 日設事連第10回東海ブロック連絡会

県立工科短期大学校
(一社)愛知県設備設計
監理協会事務局+zoom

9月

13日 日設事連第413回理事会
16日 理事会

エッサム神田ホール+zoom
zoom

10月

14日 日設事連第6回東海・北信越ブロック協議会
21日 県設備課との意見交換会
21日 自由民主党静岡県連 党員・党友の集い
27日 設備協会・設備設計協会合同出前講座
28日 技術講習会

福井県+zoom
産学交流センター
ホテルグランヒルズ静岡
県立工科短期大学校
産学交流センター

11月

2日 静岡県議会議員天の一県政報告会
25日 共同事業推進委員会視察研修

ホテルアソシア静岡
(株)パーパス
エコベストファーム

12月

9日 理事会

パルシェ会議室



会員交流会



技術講習会



視察研修



第10回定時総会

2023

令和5年

LGBT法成立
消費税のインボイス制度
開始

1月

10日 静岡県知事への年始挨拶
27日 会員交流会
31日 日設事連正会員会長会議

静岡県庁
ホテルアソシア静岡
zoom

2月

22日 静岡県議会議員天の一応援企業団体選対会議

もくせい会館

3月

4日 公明党本部「政策要望懇談会」
10日 理事会

ホテルグランヒルズ静岡
協会事務所

4月

21日 理事会
27日 日設事連第415回理事会及び次期理事予定者合同会議

協会事務所+zoom
エッサム神田ホール+zoom

5月

18日 第11回定時総会

ホテルアソシア静岡

6月

5日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会第71回定時総会

如水会館+zoom

7月

5日 日設事連第418回理事会
14日 第11回東海ブロック連絡会

エッサム神田ホール+zoom
(一社) 愛知県設備設計
監理協会事務局+zoom

20日 経済フォーラム2023
21日 理事会

中島屋グランドホテル
協会事務所+zoom

9月

12日 技術講習会
22日 理事会

産学交流センター
協会事務所+zoom

10月

6日～ 共同事業推進委員会視察研修
7日
13日～ 第7回東海・北信越ブロック協議会
14日
13日 自由民主党静岡県連 党員・党友の集い
20日 県設備課との意見交換会
27日 第65回建築士全国大会静岡大会

長野県川上村役場他

三重県津市

ホテルグランヒルズ静岡
産学交流センター
グランシップ

11月

8日 「建築設備士の日」記念事業
24日 静岡県議会議員天の一県政報告会

愛知芸術文化センター
ホテルアソシア静岡

12月

8日 理事会
11日 静岡市長「なんばたかし市政報告会」

協会事務所+zoom
グランディエール
ブケトーカイ



会員交流会



視察研修 川上村役場



第11回定時総会

2024

令和6年

能登半島地震
新紙幣発行

1月

5日 静岡県知事への年始挨拶
19日 会員交流会
30日 日設事連第419回理事会
30日 日設事連正会員会長会議

静岡県庁
ホテルアソシア静岡
如水会館
如水会館

2月

16日 中部地方整備局営繕部との技術連絡会

中部地方整備局

3月

8日 理事会
25日 県立清水南高等学校訪問

協会事務所+zoom
県立清水南高等学校

4月

23日 県立工科短期大学校訪問
26日 理事会

県立工科短期大学校
協会事務所+zoom

5月

9日 日設事連第420回理事会
23日 第12回定時総会
31日 第8回東海・北信越ブロック協議会

エッサム神田ホール+zoom
ホテルアソシア静岡
ANAクラウンプラザ
ホテル金沢

6月

5日 (一社) 静岡県フロン回収事業協会創立30周年記念式典
24日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会第421回理事会
24日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会第72回定時総会

グランディエール
ブケトーカイ
如水会館+zoom
如水会館+zoom

7月

17日 第12回東海ブロック連絡会
19日 理事会
29日 静岡市長「なんばたかし市政報告会」

(一社) 愛知県設備設計
監理協会事務局+zoom
協会事務所+zoom
グランディエール
ブケトーカイ

9月

20日 理事会
30日 技術講習会

協会事務所+zoom
産学交流センター

10月

16日 県設備課との意見交換会

パルシェ会議室

11月

8日～ (一社) 愛知県設備設計監理協会創立50周年記念式典
9日

ストリングスホテル名古屋

12月

9日 静岡市長「なんばたかし市政報告会」
13日 理事会

グランディエール
ブケトーカイ
協会事務所+zoom



技術講習会 後藤会長



第8回東海北信越ブロック協議会



第12回定時総会

2025

令和7年

1月

7日 静岡県知事への年始挨拶
17日 会員交流会
28日 日設事連正会員会長会議

静岡県庁
ホテルアソシア静岡
如水会館

2月

12日 中部地方整備局営繕部との技術連絡会
25日 自由民主党静岡県連 党員・党友の集い

中部地方整備局
ホテルグランヒルズ静岡

3月

7日 理事会

協会事務所+zoom

4月

25日 理事会

協会事務所+zoom

5月

22日 第13回定時総会

ホテルアソシア静岡

6月

2日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会第73回定時総会
9日 第27回参議院選挙各種友好団体総決起大会

如水会館+zoom
ホテルアソシア静岡

7月

3日 (一社) 日本設備設計事務所協会連合会第427回理事会
15日 第13回東海ブロック連絡会

エッサム神田ホール+zoom
(一社) 愛知県設備設計
監理協会事務局+zoom

25日 理事会

協会事務所+zoom

28日 静岡市長「なんばたかし市政報告会」

グランディエール
ブケトーカイ



新年挨拶



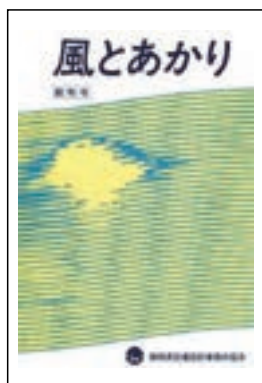
会員交流会



第13回定時総会

広 報 誌

「風とあかり」のあゆみ



VOL.1

1988年(昭和63年)7月



VOL.2

1988年(昭和63年)11月



VOL.3

1989年(平成元年)8月



VOL.4

1989年(平成元年)12月



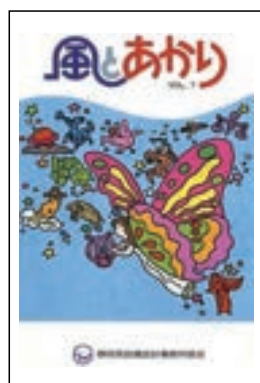
VOL.5

1990年(平成2年)8月



VOL.6

1990年(平成2年)12月



VOL.7

1991年(平成3年)8月



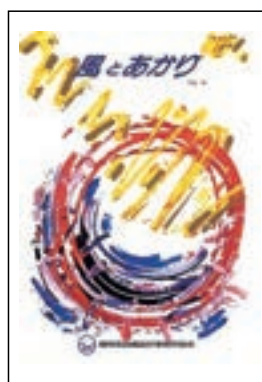
VOL.8

1991年(平成3年)11月



VOL.9

1992年(平成4年)9月



VOL.10

1993年(平成5年)3月



VOL.11

1993年(平成5年)11月



VOL.12

1994年(平成6年)8月



VOL.13
1995年(平成7年)7月



VOL.14
1996年(平成8年)7月



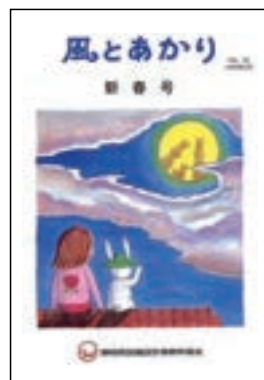
VOL.15
1997年(平成9年)8月



VOL.16
1998年(平成10年)2月



VOL.17
1998年(平成10年)9月



VOL.18
1999年(平成11年)2月



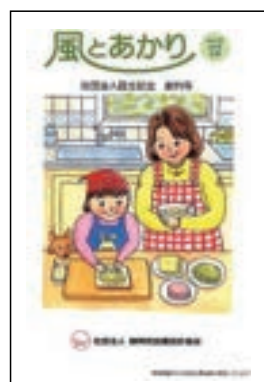
VOL.19
1999年(平成11年)9月



VOL.20
2000年(平成12年)2月



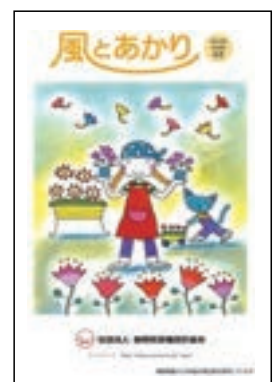
VOL.21
2000年(平成12年)9月



VOL.22
2001年(平成13年)5月



VOL.23
2002年(平成14年)2月



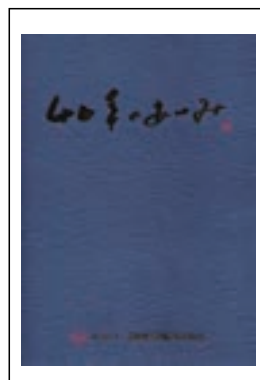
VOL.24
2002年(平成14年)8月



VOL.25
2003年(平成15年)8月



VOL.26
2004年(平成16年)8月



40周年記念誌(VOL.27)
2005年(平成17年)11月



VOL.27 別冊
2005年(平成17年)11月



VOL.28
2006年(平成18年)9月



VOL.29
2007年(平成19年)9月



VOL.30
2008年(平成20年)9月



VOL.31
2009年(平成21年)9月



VOL.32
2010年(平成22年)9月



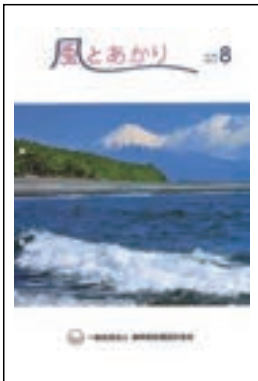
VOL.33
2011年(平成23年)9月



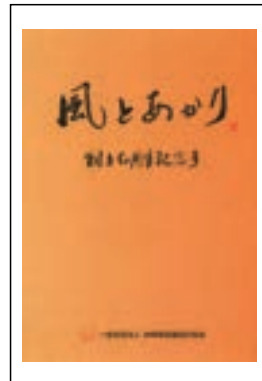
VOL.34
2012年(平成24年)9月



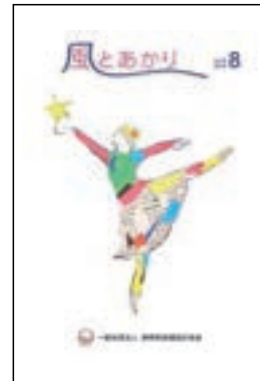
VOL.35
2013年(平成25年)8月



VOL.36
2014年(平成26年)8月



50周年記念号 (VOL.37)
2015年(平成27年)11月



VOL.38
2016年(平成28年)8月



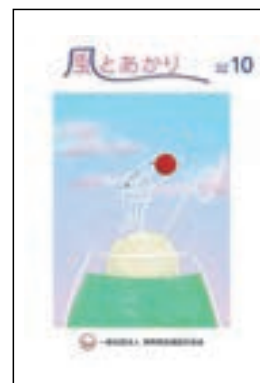
VOL.39
2017年(平成29年)8月



VOL.40
2018年(平成30年)8月



VOL.41
2019年(令和元年)8月



VOL.42
2020年(令和2年)10月



VOL.43
2021年(令和3年)9月



VOL.44
2022年(令和4年)8月



VOL.45
2023年(令和5年)8月



VOL.46
2024年(令和6年)8月



60周年記念号 (VOL.47)
2025年(令和7年)11月

歴代役員

顧問	杉山憲夫 様 1975～1998	堀江静男 様 1987～1996
----	------------------	------------------

昭和49年までの「理事」欄は、正会員名とする。

年 度 4月～翌年3月		4月総会		会 長	副 会 長	専 務 理 事	理 事						
		正会員	賛助 会員										
『静岡県設備設計事務所協会』 昭和40年4月17日 設立													
1965年	昭和40年	9		初代	塩沢千尋			小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1966年	昭和41年	9		森坂利昌				小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1967年	昭和42年	9						小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1968年	昭和43年	10						小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1969年	昭和44年	14						小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1970年	昭和45年	14						小池敏和	小長谷直弘	坂田英夫	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1971年	昭和46年	14		2 代	山下高明			小池敏和	小長谷直弘	森坂利昌	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1972年	昭和47年	17		坂田英夫				小池敏和 小野	小長谷直弘 小林 順	森坂利昌 鈴木禮正	白岩保憲	伊藤 伴 賢二	池谷昭三
1973年	昭和48年	24		3 代 山下高明	小池敏和			坂田英夫 小野	小長谷直弘 小林 順	森坂利昌 鈴木禮正	白岩保憲 志賀正紀	伊藤 伴 賢二 小柳克彦 三晃	池谷昭三 杉山芳教
1974年	昭和49年	24						坂田英夫 小野	小長谷直弘 小林 順	森坂利昌 鈴木禮正	白岩保憲 志賀正紀	伊藤 伴 賢二 小柳克彦 三晃	池谷昭三 杉山芳教
1975年	昭和50年	23		4 代	伴 賢二			大竹和雄	杉山芳教	白鳥茂雄	塩沢千尋	山下高明 志賀正紀	
1976年	昭和51年	21		小池敏和									
1977年	昭和52年	21						大竹和雄	杉山芳教	白鳥茂雄	塩沢千尋	山下高明 志賀正紀	
1978年	昭和53年	21											
1979年	昭和54年	21		5 代		大竹和雄		小池敏和	杉山芳教	白鳥茂雄	小林 順	山下高明 志賀正紀	
1980年	昭和55年	37		塩沢千尋									
1981年	昭和56年	40						小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	小林 順	白鳥茂雄 志賀正紀	山下高明
1982年	昭和57年	40											
1983年	昭和58年	40		6 代		白鳥茂雄		小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋 中田樹臣
1984年	昭和59年	41		大竹和雄									
1984年	昭和59年	8月大竹会長死去 にて9月より		7 代	志賀正紀			小池敏和	杉山芳教	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋 中田樹臣
1985年	昭和60年	41	82	伴 賢二									
1986年	昭和61年	42	83					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋 中田樹臣
1987年	昭和62年	42											
1988年	昭和63年	42	95					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋 中田樹臣
1989年	平成元年	44	102										
1990年	平成 2 年	47	102					小池敏和	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	荒牧弘芳	塩沢千尋 中田樹臣
1991年	平成 3 年	46	103	8 代	荒牧弘芳	寺田尚弘		伴 賢二	上杉 勇	小柳克彦	田中 良	白鳥茂雄	花村吉晃 中田樹臣
1992年	平成 4 年	46	124	志賀正紀						寺尾 崇			
1993年	平成 5 年	50	138				酒井 丹	伴 賢二	手塚正一	鍵和田広志	伏見祥二	白鳥茂雄	花村吉晃 山本幸男
1994年	平成 6 年	60	149										
1995年	平成 7 年	59	152					伴 賢二	手塚正一	小柳克彦	田中 良	白鳥茂雄	花村吉晃 神谷保孝
1996年	平成 8 年	52	152									設楽茂雄	
1997年	平成 9 年	52	153		多々良公夫	手塚正一		伴 賢二	上杉 勇	小林康秀	田中 良	設楽茂雄	川連新三郎 神谷保孝
1998年	平成10年	2月 53 9月 51	169										
1999年	平成11年	2月 51 9月 48	160		手塚正一	小林康秀	塩沢千尋	伴 賢二	上杉 勇	佐々木哲男	三ツ井幹雄	設楽茂雄	川連新三郎 新間正博
2000年	平成12年	48	152				H13.3まで						

堀江龍一 様 1991～2011	西原茂樹 様 1999～2005
------------------	------------------

理	事	監 事	委 員 長						備 考
			総務	業務	技術	事業	法人化	広報	
中田樹臣									
中田樹臣	山下高明	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治					
中田樹臣	山下高明	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治					
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治					
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治					
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治					
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治		塩沢千尋	志賀正紀	山下高明	事業・技術・業務の3委員会発足
吉岡弘一	飯田 永福								
中田樹臣	塩沢千尋	白鳥茂雄	佐々木与作	小池憲治		塩沢千尋	志賀正紀	山下高明	
吉岡弘一	飯田 永福								
						志賀正紀	大竹和雄	山下高明	
						塩沢千尋	白鳥茂雄	志賀正紀	杉山芳教
						塩沢千尋	白鳥茂雄	志賀正紀	杉山芳教
						山下高明	志賀正紀	伴 賢二	小林 順
夏目素男	寺田尚弘					白鳥茂雄	志賀正紀	伴 賢二	小林 順
山下高明	手塚正一	寺田尚弘	志賀正紀			塩沢千尋	小林 順	志賀正紀	手塚正一
山下高明	手塚正一	寺田尚弘				塩沢千尋	手塚正一	中田樹臣	小柳克彦
村松章司	手塚正一	寺田尚弘	堀野勝己		小林 順	塩沢千尋	手塚正一	中田樹臣	小柳克彦
村松章司	手塚正一	寺田尚弘	堀野勝己			小柳克彦	田中 良	寺田尚弘	中田樹臣
						小柳克彦	中田樹臣	田中 良	手塚正一
村松章司	手塚正一	山本孝行	堀野勝己			小柳克彦	中田樹臣	田中 良	手塚正一
村松章司	岡田慎一郎	山本孝行	堀野勝己			小柳克彦	堀野勝己	中田樹臣	田中 良
						手塚正一			
岡田慎一郎					田中 良	手塚正一	鍵和田広志	岡田慎一郎	花村吉晃
村松章司					鍵和田広志	手塚正一	村松章司	田中 良	神谷保孝
小林康秀							花村吉晃		荒牧弘芳
					小柳克彦	上杉 勇	川連新三郎	設楽茂雄	田中 良
						上杉 勇	新聞正博	三ツ井幹雄	設楽茂雄
								手塚正一	山梨敏男

歴代役員

顧問	堀江龍一 様 1991～2011	西原茂樹 様 1999～2005
----	------------------	------------------

年 度 4月～翌年3月		3月総会		5月総会		会長	副 会 長	専務理事	理 事													
		正会員	賛助 会員	正会員	賛助 会員																	
『社団法人 静岡県設備設計協会』 平成13年2月23日 登記																						
2001年	平成13年			52		8代 志賀正紀	手塚正一		小林康秀	伴 賢二	上杉 勇	設楽茂雄	曾布川尚民	松浦 浩	岡本吉弘	西川和宏	萩原 孝	山田順策	後藤伸彰	若月 允		
2002年	平成14年	50		48		9代 手塚正一	小林康秀	上杉 勇	三ツ井幹雄	新聞正博	植田賢司	曾布川尚民	萩原 孝	山田順策	西川和宏	後藤伸彰	若月 允					
2003年	平成15年	48		48																		
2004年	平成16年	48		47					植田賢司	佐々木哲男	山本孝行	名波睦生	曾布川尚民	萩原 孝	山田順策	西川和宏	吉永 忍	長谷川紀夫				
2005年	平成17年	45		44	126																	
2006年	平成18年	45	126	42	126		植田賢司		三ツ井幹雄	佐々木哲男	鈴木洋之	山森 繁	曾布川尚民	萩原 孝	菊池敏明	河原崎益弘	長谷川紀夫	西川和宏				
2007年	平成19年	48	130	47	128																	
2008年	平成20年	43	125	43	119	手塚正一	小林康秀		佐々木哲男	鈴木洋之	山森 繁	白井和彦	曾布川尚民	西川和宏	輿水光仁	長谷川紀夫	河原崎益弘	菊池敏明				
2009年	平成21年	40	125	37	119																	
2010年	平成22年	37	122	38	122	10代 小林康秀	山森 繁	美和静男	白井和彦	枝村 彰	永野靖子		河原崎益弘	稲葉 貢	輿水光仁	大川正幸	土橋 博	萩元 勇				
2011年	平成23年	36	118	33	114																	
2012年	平成24年	31	111	32	112	11代 三ツ井幹雄	美和静男	白井和彦	山森 繁	佐野富士雄	名波睦生	神谷保孝	齊藤隆幸	稲葉 貢	酒井章次							
『一般社団法人 静岡県設備設計協会』 平成25年4月1日 登記																						
2013年	平成25年	30	111	31	111	三ツ井幹雄	美和静男	白井和彦	山森 繁	佐野富士雄	名波睦生	神谷保孝	齊藤隆幸									
2014年	平成26年			28	109									植田賢司								
2015年	平成27年			26	109		植田賢司					中山 巧	大塚 優									
2016年	平成28年			25	109							甲斐裕士										
2017年	平成29年			26	108	植田賢司	神谷保孝	名波睦生														
2018年	平成30年			26	110																	
2019年	平成31年			26	107			甲斐裕士	甲斐裕士		後藤利基	杉山 敬										
2020年	令和2年			26	107																	
2021年	令和3年			26	108	神谷保孝	佐野富士雄	後藤利基	後藤利基	長田武士	川端猛真	辻 信之										
2022年	令和4年			23	108																	
2023年	令和5年			21	108	後藤利基	佐々木哲男	杉山 敬	杉山 敬		村松 宏	伴 光正										
2024年	令和6年			20	103																	
2025年	令和7年			22	104					村松 宏	赤堀智和											

天野 一 様 2003～

浜井卓男 様 2006～2010

相談役 2002年から			監 事	事務長	委 員 長					地 区 幹 事			備 考					
					総務	業務	技術	地球環境	広報	東部	中部	西部						
			中田樹臣	鈴木京作	H13.4から	上杉 勇	新聞正博	三ツ井幹雄	設楽茂雄	山梨敏男	佐々木哲男	三ツ井幹雄	川連新三郎	社団法人設立総会 1月25日 ホームページ開設				
伴 賢二	志賀正紀				松下秀典	山森 繁	新聞正博	清水三敏	植田賢司	山梨敏男	佐々木哲男	設楽茂雄	美和静男					
						山本孝行	枝村 彰	名波睦生	中山 巧	村松章司	佐々木哲男	山森 繁	枝村 彰	11月HPに「eー風とあかり」 開設				
						鈴木洋之	美和静男	山森 繁	中山 巧	村松章司	佐々木哲男	嶋 正次	神谷保孝	11月11日「40周年記念式典」				
						総務	事業 会員交流	技術	公益 地球環境	広報 広報誌 HP								
伴 賢二	志賀正紀		多々良公夫	犬飼成治	松下秀典	美和静男	名波睦生	山梨清実	神谷保孝	枝村 彰	佐々木哲男	多々良公夫	佐藤友康	委員会構成変更				
								佐野富士雄	中山 巧	村松章司				(社)日設協事務取扱い廃止				
						総務・事業		技術・環境		広報								
手塚正一			多々良公夫	稲熊昭義	古屋佳宏	三ツ井幹雄		佐野富士雄		中山 巧 名波睦生 川端猛真	永野靖子	多々良公夫	佐藤友康					
					息 明雄											事務局移転（静岡市駿河区 稲川1-1-32）		
小林康秀				植田賢司		名波睦生	佐野富士雄		神谷保孝	白井和彦	花村吉晃	杉山芳教	HPリニューアル					
						総務		技術		広報								
小林康秀			多々良公夫	植田賢司	息 明雄	名波睦生		佐野富士雄		神谷保孝	白井和彦	花村吉晃	杉山芳教	H25度より総会は5月開催 のみとなる				
				中村健一							植田賢司	村松 宏	杉山 敬					
				村松 宏		名波睦生	佐野富士雄		中山 巧	植田賢司	川端猛真	手塚正一	11月20日「50周年記念式典」					
								甲斐裕士										
						杉山 敬							佐野富士雄	辻 信之				
				山森 繁	名波睦生				後藤利基	志賀裕人	泊 真吾	赤堀智和	第3回東海・北信越ブロック 協議会静岡県開催					
三ツ井幹雄	植田賢司	小林康秀				辻 信之		川端猛真		長田武士		杉山 彰						
植田賢司	神谷保孝	三ツ井幹雄				伴 光正		村松 宏				山本晋也	手塚健雄					
															佐々木哲男			赤堀智和

設備のあゆみ

照明器具

照明器具の歴史

1. はじめに

照明器具の歴史は光源の歴史とともにある。照明器具には、必要なところに必要な明るさで照明できる光を放つ源である光源からの光を適切に配光する役割と、光源を点灯させることにより発生する熱を適切に抑える役割の大きな二つの役割があるが、いずれも光源の影響を強く受ける。

また、光色や光束、演色性、省エネ性能などの照明器具の特性の多くが、ほぼ光源の特性に起因している。

2. 燃焼エネルギーによる照明器具、ガス灯

人類にとって初めての照明用光源は火である。食卓をろうそくの火で照らしたり、人が集まる場を薪の火で照らしたりすることなどは現在でも行われているが、環境を照らす主たる光源として、火を制御していた時代が、人類が火を発見してから長きにわたって続いた。

1797年、イギリスのマードックが、この石炭ガスを燃焼エネルギーとしたガス灯を作り、工場に2基設置して実用性を立証した。

ガス灯はローソクよりもはるかに明るく、エネルギーコストも低かったため、ガス事業の成長とともに普及した。

日本最初の実用ガス灯は1872年に大阪造幣局付近に設置された街路灯である。その明るさは評判となり、全国に普及していった。

3. 電気エネルギーによる照明器具、白熱灯

ガス灯は燃焼を利用してあかりを得るため、常に火災のリスクを伴っていた。そこで、電気エネルギーの照明への活用が検討されるようになった。

1879年に、エジソンが白熱電球を発明した。同年10月19日に点灯した白熱電球は40時間以上光り輝き続け、その光が消えた10月21日は、エジソンが電球を発明した日として知られている。

この発明以後、フィラメントの改良が行われ、1880年に日本の竹がフィラメントに適していることをエジソンは発見した。

そして、10年余りにわたって、京都・八幡の真竹が米国でつくられるカーボン電球のフィラメントとして使われた。この日本で最初に製造された炭素電球は、明治末期には400万個／年以上の生産量に達した。

当時の照明器具の大部分には、図-1左に示す「P-1セード」と呼ばれた乳白ガラス製の偏平な笠が用いられていたが、図-1右に示すような「花形セード」と呼ばれる装飾的なものも使用された。

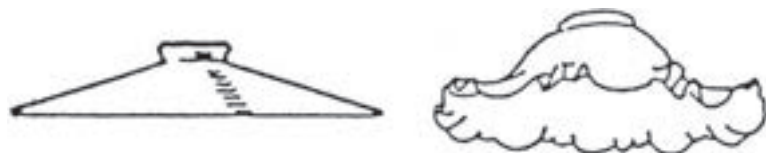


図-1 P-1セード（左）と花形セード（右）

その後、1913年に電球の内部に不活性ガスを封入することでフィラメントの長寿命化に成功した。さらに、1921年には三浦順一がタングステンを二重コイル状にしたフィラメントを発明し、このフィラメントを用いた一般照明用二重コイル電球が1936年に販売された。現在も使用されている一般照明用の白熱電球の基礎はこのときにほぼ完成したと言える。

1963年には、図-2に示す引掛けシーリングローゼットが開発され、工事業者によらず器具の設置、移設や交換が容易となり、白熱灯器具だけでなく、蛍光灯器具などのその後の照明器具にも構造や販売面で大きな影響を与えた。



図-2 引掛けシーリングローゼット

4. 放電により可視光を放つ照明器具、蛍光灯

電気エネルギーの照明への活用の最初は、熱放射により発光する白熱電球ではなく、1815年、イギリスのデービーが英国王立協会の会合で点灯実験に成功した放電により発光するアーク灯であった。

しかし、アーク灯には多くの欠点があり、一般家庭に普及できるものではなかった。この放電を照明に活用する研究が進み、電極から放出された電子が発光管（バルブ）内に封入された原子と衝突して、可視光を放つ光源が開発された。

これがHIDランプ（高輝度放電灯：HighIntensity Discharge Lamp）である。“高輝度”と名付けられているように、HIDランプは白熱電球よりも多くの光を放つため、屋外用途の照明器具の光源としてよく使われてきた放電を活用した照明で、最も普及したのが蛍光ランプである。HIDランプと同様、放電された電子がガラス管内の水銀原子と衝突して放射が起きる。ただし、このときに放射されるのは可視することのできない紫外線である。

そこで、ガラス管の内側に蛍光体を塗布することで、紫外線を可視光に変換したのが蛍光ランプである。蛍光ランプは、米国のゼネラル・エレクトリック社の技術陣により、1938年に実用化に成功した。

この蛍光ランプを光源とする蛍光灯器具が日本に初めて現れたのは1940年で、法隆寺の壁画の模写に20Wランプを6灯および4灯並べた器具が用いられた。

そして、1949年に40Wランプが開発、量産化され、蛍光灯照明普及のきっかけとなった。当時の代表的な照明器具の基本的な構造、形状は図-6左のとおりで、現在の器具とはほぼ同じであったが、1951年に量産品が発売された20W蛍光ランプを用いた住宅用器具は、図-6右に示すようにチェーン吊りの器具であった。

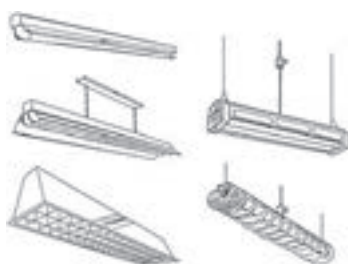


図-6 蛍光灯器具（左：施設用，右：住宅用）

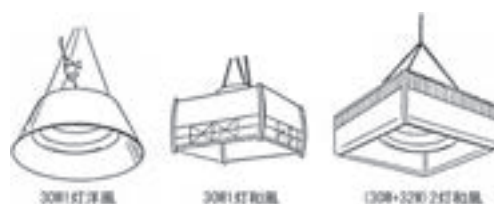


図-7 住宅用環形蛍光灯器具

住宅用照明では、1953年に環形30Wランプの開発により、図-7に示すような和室にも適した吊り下げ形器具が開発された。図-5に示す引掛けシーリングの活用による簡単取付けで、これら環形吊り下げ器具が以後主流となった。

1974年には、オランダのフィリップス社が商品化した三波長域発光形蛍光ランプにより蛍光ランプの性能が飛躍的に向上した。蛍光体の開発と蛍光ランプの組み合わせにより、発光域を赤色、緑色、青色に集中させることで、15%の発光効率の向上と色の見え方の改善の両立に成功した。三波長域発光形蛍光ランプの蛍光体は劣化も少ないことから、コンパクト化と細管化にも貢献し、一般的なベースライトだけでなく、ダウンライトやトンネル用照明器具の光源にも使用され、幅広く普及した。

1999年には蛍光灯器具のトップランナー基準が採用され、高い省エネ目標基準が適用されたとともに、2001年には「循環型社会形成推進基本法」を中心とした法整備により、省エネルギーだけでなく「資源循環：3R（リデュース・リユース・リサイクル）」に配慮した照明器具が商品化された。

5. 半導体による照明器具，LED

LED（発光ダイオード：Light Emitting Diode）はp型半導体とn型半導体と呼ばれる2種類の半導体の接合でできている。p型半導体は正の電荷をもつ正孔（プラス）で、n型半導体は負の電荷をもつ電子（マイナス）。

ここに電圧をかけると、正孔と電子はいったんエネルギーの高い不安定な状態になり、電流の流れの中で移動して接合面で正孔と電子が再結合する。このときに発生するエネルギーが光として放出されるのがLEDである。

電気エネルギーが直接光エネルギーに変換されるため、たいへん効率のよい光源として、照明の省エネルギー化に多大な貢献をしている。

LEDの歴史は、1960年代後半に開発された赤色LEDから始まるが、LEDが一般照明に採用されるようになったのは、1999年に高輝度で発光する青色LEDが開発されてからとなる。

2007年、廊下やトイレなどの空間は、色の見え方が多少悪くても気にならないだろうという考えのもと、発光効率を重視し、コストを抑えた価格で商品化がなされた結果、急速な普及につながった。

2010年には、Hf32W 2灯相当の施設用器具において、固有エネルギー消費効率が113lm/WとHfインバーター式蛍光灯器具を超える高効率の施設用LED器具が発売された。

また同年、安全性確保の観点から、日本電球工業会（現、日本照明工業会）より直管形LEDランプに関する規格JEL801「一般照明用GX16t-5口金付直管LEDランプシステム」が発表され、この規格に則したLED照明器具が発売された。

2013年にはLED光源部分と電源部分を一体化した一体型LED器具が発売された。現在では固有エネルギー消費効率が200lm/Wを超える器具が発売されているだけでなく、プリズムや導光板などの光学部材を採用し、空間に適した配光で照明するLEDならではの器具が開発されたり（写真-1）、無線制御やセンサ連動できる器具が開発されたりするなど、一体型LED器具は現在、製造販売されている照明器具の主流となっている。



写真-1 導光板採用施設用LED 器具



写真-2 住宅用LED シーリングライト



写真-3 4K8K テレビ放送対応 LED 投光器

住宅用LED器具においては、2010年には調光・調色・リモコン制御により、生活シーンに合わせた最適な明かりを選択できるLEDシーリングライトが発売された（写真－2）。

その後も、導光板を採用するなど配光を工夫した器具や、演色性を向上させるだけでなく、肌色などの特定の色をきれいに照明するLED器具も開発された。

店舗用LED器具でも、演色性の向上に加え、食材などの特定の色を好ましく照明したり、赤、緑、青を太陽光のもとで見るとより鮮やかに演出したりするなど、目的に応じてデザインされた光のLED器具が商品化された。

屋外用LED器具においては、2010年に400W水銀ランプに相当する明るさで消費電力144Wを達成したLED投光器が発売され、2011年に255Wで400Wメタルハライドランプと同等の明るさを実現したLED投光器が商品化された。

2018年より放送が始まった4K8Kテレビ放送と呼ばれる超高精細度テレビジョン放送に対応した平均演色評価数 $R_a \geq 90$ 、特殊演色評価数 $R_9 \geq 80$ に対応したLED投光器が発売された（写真－3）。

6. おわりに

照明器具の歴史を光源の歴史を軸に述べた。ガス灯の実用化が1810年代、白熱電球の発明が1879年、蛍光灯の発明が1938年、照明用白色LEDの発明が1996年と、約60年ごとに光源の技術革新があった。次の光源の技術革新と照明器具がどう進化していくのか、期待が高まる。

